

対象学科	ウェディング科				
対象学年	2 学年	科目名	実習就職対策講座I	担当名	田中・吉田・岡
対象学期	前 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間
到達目標	将来の就職を見据えて、夏のインターンシップ参加に向けて、必要な準備を整える。また、選考が本格始動する就職活動に向けて全体像とスケジュールを理解し、それぞれの時期で何をすべきかを判断できる。また、就職活動の手法を理解し、実践にむけて練習を重ねる。				
学習内容	業界を熟知している学校職員や講師が、ウェディング・ホテル業界への就職に向け、業界の動向や現場で求められる気構え・心構えを伝え、学生の「第一印象」と「業界で働くうえで求められるマインド」を高め、業界から評価される人材を育成する視点で授業を展開する。				
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A — 4.0 90点～100点 B — 3.0 80点～89点 C — 2.0 70点～79点 D — 1.0 60点～69点 E — 出席不良 F — 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は60点分の課題提出とする(全6個の課題が各10点配点)				
履修に当たっての留意点	パソコンと手帳(スケジュール帳)を毎回必ず持参すること ・基本的にスーツ登校 別途服装指定がある場合は授業内で伝えます。				

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	・ITリテラシー・キャリアサポートアンケートの実施 ・就職活動の流れを確認しマイナビ2027、リクナビ2027の登録を行う/インターンシップと早期選考について	・パソコンを忘れずに持参すること ・手帳(スケジュール帳)	授業内容に応じて、自宅学習
2	・就職活動における学校のルールを理解する ＜復習予定＞ウェディング・ホテル業界の職種を理解できる		
3	・面接時の入退室方法の基本的確認と実践 ・就職活動におけるオンラインツールの確認	・パソコンを忘れずに持参すること ・手帳(スケジュール帳)	授業内容に応じて、自宅学習
4	・オンライン企業説明会や面接の方法を確認し、オンライン上で良い第一印象の残し方を実践する		
5	＜社会人基礎力講座＞ ・人生100年時代の社会人基礎力の概要解説 ・3つの視点と12の能力要素と自己分析	・パソコンを忘れずに持参すること ・手帳(スケジュール帳)	授業内容に応じて、自宅学習
6	・ウェディング・ホテル業界に必要な「チームで働く力」をグループワークを通じて理解する ★提出物＜1＞自己分析シート		
7	＜業界・企業研究講座①＞ ・求人票の見方を理解する ・企業分析からの逆質問検討を実践する ・説明会参加時の注意点	・パソコンを忘れずに持参すること ・手帳(スケジュール帳)	授業内容に応じて、自宅学習
8	＜応募書類講座①＞ ・応募書類についての基本的な書き方を理解する ・インターンシップ情報収集方法を理解する ★提出物＜2＞インターンシップ情報シート		
9	＜面接対策講座＞ ・面接の種類解説 ・質問の意図について理解する	・パソコンを忘れずに持参すること ・手帳(スケジュール帳)	授業内容に応じて、自宅学習
10	＜集団面接実践＞ ・面接実践と面接官体験をして双方の目線を体験する ・模擬面接を実践する ★提出物＜3＞面接体験シート		
11	＜業界・企業研究講座②＞ ・業界地図、就職四季報からの企業理解を実践する ・企業研究を実施した上で志望動機を作成する ★提出物＜4＞企業研究シート	・パソコンを忘れずに持参すること ・手帳(スケジュール帳)	授業内容に応じて、自宅学習
12	＜グループディスカッション講座＞ ・グループディスカッションの解説 ・グループディスカッションの実践する		
13	＜応募書類講座②＞ ・就職活動用の履歴書作成し提出する ★提出物＜5＞履歴書	・パソコンを忘れずに持参すること ・手帳(スケジュール帳)	授業内容に応じて、自宅学習
14	＜応募書類講座③＞ ・エントリーシートを作成するにあたっての注意点を理解する		
15	＜インターンシップ参加成果報告会＞ ・インターンシップ参加後の成果をプレゼンテーションする ・秋以降の企業情報のチェック方法の再確認 ★提出物＜6＞インターンシップ成果報告書	・パソコンを忘れずに持参すること ・手帳(スケジュール帳) ・インターンシップ参加の感想メモを書いた資料	授業内容に応じて、自宅学習

対象学科	ウェディング科							
対象学年	2 学年	科目名	実習就職対策講座II		担当名			
対象学期	後 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位	30	時間	

到達目標	2年次前期までに習得した就職活動における知識と技術を就職決起会で実践できる。また採用試験に臨む準備を万全に備え、早期に就職内定を勝ち得ることができる。
学習内容	業界を熟知している学校職員や講師が、ウェディング・ホテル業界への就職に向け、業界の動向や現場で求められる気構え・心構えを伝え、学生の「第一印象」と「業界で働くうえで求められるマインド」を高め、業界から評価される人材を育成する視点で授業を展開する。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は60点分の課題提出とする(全12個の課題が各5点配点)
履修に当たっての留意点	使用教材をしっかりと確認し、毎回忘れ物がないよう出席すること ・社会人基礎力を養う目的で毎回リクルートスーツで参加すること

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	・後期オリエンテーション ・就職決起会のオリエンテーション ・就職決起会のエントリーシート作成①	・パソコンを忘れずに持参すること ・手帳(スケジュール帳)	授業内容に応じて、 自宅学習
2	＜就職決起会ES作成②＞ ・就職決起会エントリーシートを作成する演習・実践 ★提出物<1>就職決起会用履歴書(初回)	・パソコンを忘れずに持参すること ・手帳(スケジュール帳)	授業内容に応じて、 自宅学習
3	＜応募書類講座④＞ ・エントリーシートを作成する演習・実践 ★提出物<2>エントリーシート	・パソコンを忘れずに持参すること ・手帳(スケジュール帳)	授業内容に応じて、 自宅学習
4	＜面接練習会＞ ・面接対策復習・実践	・パソコンを忘れずに持参すること ・手帳(スケジュール帳)	授業内容に応じて、 自宅学習
5	＜面接練習会＞ ・面接実践 ★提出物<3>面接練習シート	・パソコンを忘れずに持参すること ・手帳(スケジュール帳)	授業内容に応じて、 自宅学習
6	＜グループディスカッション練習会＞ ・グループディスカッション対策復習・実践	・パソコンを忘れずに持参すること ・手帳(スケジュール帳)	授業内容に応じて、 自宅学習
7	＜グループディスカッション練習会＞ ・グループディスカッション実践 ★提出物<4>グループディスカッション練習シート	・パソコンを忘れずに持参すること ・手帳(スケジュール帳)	授業内容に応じて、 自宅学習
8	＜インターンシップ&キャリア講座①＞ ・現在インターンシップ&キャリアを実施している企業理解 ・WEBセミナー参加開始日を確認・申込 ★提出物<5>就職決起会履歴書(最終版提出)	・パソコンを忘れずに持参すること ・手帳(スケジュール帳)	※就職決起会ES最終提出日 (予定)
9	＜インターンシップ&キャリア講座②＞ ・現在インターンシップ&キャリアを実施している企業理解 ・WEBセミナー参加開始日を確認・申込	・パソコンを忘れずに持参すること ・手帳(スケジュール帳)	授業内容に応じて、 自宅学習
10	＜応募書類講座⑤>/各サイト入力最終確認> ・リクナビのオープンES入力 ・マイナビのマイキャリアボックス入力 ★提出物<6>マイキャリアボックスPDF提出	・パソコンを忘れずに持参すること ・手帳(スケジュール帳)	授業内容に応じて、 自宅学習
11	＜履修登録説明/就職決起会の目標設定＞ ・履修登録説明 ・就職決起会の目標設定 ★提出物<7>就職決起会目標設定シート	・パソコンを忘れずに持参すること ・手帳(スケジュール帳)	授業内容に応じて、 自宅学習
12	＜就職決起会＞ ★提出物<8>就職決起会感想シート	・パソコンを忘れずに持参すること ・手帳(スケジュール帳)	授業内容に応じて、 自宅学習
13	＜就職決起会の振り返り＞ ・就職決起会を振り返り、就職活動へ活かす点を明確化 ・就職決起会のFBを元に内容をブラッシュアップ ★提出物<9>就職決起会振り返りシート	・パソコンを忘れずに持参すること ・手帳(スケジュール帳)	授業内容に応じて、 自宅学習
14	＜就職活動の行動計画＞ ・アクションプラン作成 ・エントリー(予約)リスト作成 ★提出物<10>アクションプランシート	・パソコンを忘れずに持参すること ・手帳(スケジュール帳)	授業内容に応じて、 自宅学習
15	※2月実施予定のホテル業界合同会社説明会IN東京に参加以外の学生 ＜ウェディング・ブライダル業界就職フェア参加企業分析＞ ・企業分析とブースの優先順位リストを作成 ★提出物<11>ホテル業界合同会社説明会感想シート又は企業分析シート	・パソコンを忘れずに持参すること ・手帳(スケジュール帳)	授業内容に応じて、 自宅学習

対象学科	ウェディング科		
対象学年	2 学年	科目名	ホテルビジネス
対象学期	前 期	講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	担当名 丸毛 浩一
		単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	ホテル全般に於ける知識を学習し、ホテルビジネス実務検定を取得する事に依り、ホテル研修や就職した際に業務における円滑なコミュニケーションと基本業務が行え、ホテルエとしてのプロフェッショナルな人材を育成する。
学習内容	ホテル業界で長きにわたり、担当支配人、総支配人及び本部経験の実務経験を有し、ホテル学校での教育経験を持つ教員が学生一人一人へホテル実務全般基礎知識と検定取得を自信を持って行える授業を実施する。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	毎週の授業及び事前学習課題に備え指定されたテキストを必ず持参。

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	オリエンテーション 授業概要の理解 第1章 ホテルの基礎 第1節 観光産業の概況	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	当該授業の反復学習
2	第1章 ホテルの基礎 第2節 ホテル産業の概況	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	当該授業の反復学習
3	第1章 ホテルの基礎 第3節 実務者として必要な基礎知識 第4節 ホテル英語の基礎	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	当該授業の反復学習
4	第2章 宿泊部門 第1節 宿泊部門の概要	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	当該授業の反復学習
5	第2章 宿泊部門 第2節 宿泊部門の実務①	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	当該授業の反復学習
6	第2章 宿泊部門 第2節 宿泊部門の実務②	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	当該授業の反復学習
7	第3章 料飲部門 第1節 料飲部門の概要 料飲部門の実務①	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 701選	当該授業の反復学習
8	第3章 第2節 料飲部門の実務②	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	当該授業の反復学習
9	第4章 宴会部門 第1節 宴会部門の概要 宴会部門の実務①	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	当該授業の反復学習
10	第4章 宴会部門 第2節 宴会部門の実務②	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	当該授業の反復学習
11	第5章 調理部門 第1節 調理部門の概要 調理部門の実務①	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	当該授業の反復学習
12	第5章 調理部門 第2節 調理部門の実務②	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	当該授業の反復学習
13	ホテルビジネス基礎編 過去問題200問実践①	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	当該授業の反復学習
14	ホテルビジネス基礎編 過去問題200問実践②	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	当該授業の反復学習
15	定期試験		

対象学科	ウェディング科				
対象学年	2 学年	科目名	ドレススタイリストⅠ	担当名	福島圭子・坂田依智子
対象学期(Q)	前 期		講義・演習・実技・実習	単位/時間数	4単位 60 時間

到達目標	婚礼衣装及び小物類を丁寧に扱うことができ、洋装の正しいフィッティングができる。使用した教材を元の場所に戻すことができる
学習内容	ドレスブランドマシェリにて、500組以上の婚礼にウェディングスタイリストとして携わってきた教員と、ウェディング総合プロデュース会社「TAKAMI BRIDAL」にてウェディングスタイリストとして長きにわたり式場やホテルの現場で婚礼衣裳業務に携わってきた教員が、婚礼衣装の知識の講義と正しい技術を身につけるためのフィッティング演習を実施する。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A － 4.0 90点～100点 B － 3.0 80点～89点 C － 2.0 70点～79点 D － 1.0 60点～69点 E － 出席不良 F － 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	テキスト、筆記用具、白手、(インナー)を持参すること

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無	担当講師
1.2	スタイリストの仕事について ドレスルームの使い方	[テキスト]JWSA ウェディングファッション	授業内容に応じて自宅学習	坂田 福島
3.4	ドレスの基礎知識～シルエット・ディテール ドレスの取り扱い方	[テキスト]JWSA ウェディングファッション	授業内容に応じて自宅学習	坂田 福島
5.6	ドレスの基礎知識～装飾・色・素材 ドレスのフィッティング手順	[テキスト]JWSA ウェディングファッション	授業内容に応じて自宅学習	坂田 福島
7.8	ドレスの基礎知識～サイズ・ドレス小物 ドレスのフィッティング	[テキスト]JWSA ウェディングファッション	授業内容に応じて自宅学習	坂田 福島
9,10	ドレス小物のフィッティング手順 ドレスのフィッティング	[テキスト]JWSA ウェディングファッション	授業内容に応じて自宅学習	坂田 福島
11.12	フォーマルウェアの基本 ブライダルインナーとは	[テキスト]JWSA ウェディングファッション	授業内容に応じて自宅学習	坂田 福島
13.14	新郎衣装の知識 新郎衣装のフィッティング手順	[テキスト]JWSA ウェディングファッション	授業内容に応じて自宅学習	坂田 福島
15.16	新郎衣装と小物のフィッティング メンズフォーマルのネクタイの知識とフィッティング	[テキスト]JWSA ウェディングファッション	授業内容に応じて自宅学習	坂田 福島
17.18	ブライダルインナーの必要性和フィッティング	[テキスト]JWSA ウェディングファッション	授業内容に応じて自宅学習	坂田
19.20	ドレス小物の確認とフィッティング ドレスのフィッティング	[テキスト]JWSA ウェディングファッション	授業内容に応じて自宅学習	坂田 福島
21.22	インナーをつけてウェディングドレス・ 小物のフィッティング	[テキスト]JWSA ウェディングファッション	授業内容に応じて自宅学習	坂田 福島
23.24	インナーをつけてカラードレス・小物のフィッティング	[テキスト]JWSA ウェディングファッション	授業内容に応じて自宅学習	坂田 福島
25.26	ドレスとメンズ衣装のフィッティングとポージング	[テキスト]JWSA ウェディングファッション	授業内容に応じて自宅学習	坂田 福島
27.28	ドレスとメンズ衣装の基礎知識の復習 ドレスのフィッティングの復習	[テキスト]JWSA ウェディングファッション	授業内容に応じて自宅学習	坂田 福島
29,30	定期試験			坂田 福島

対象学科	ウェディング科			
対象学年	2 学年	科目名	ドレススタイリストⅡ	担当名 坂田 依智子・福島圭子
対象学期(Q)	後 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数 4単位 60 時間

到達目標	衣装決定までの流れを習得し、トータルコーディネートを含めた衣装提案ができる。 婚礼和装の衣装選びを正しい知識でご案内ができる。
学習内容	ウェディング総合プロデュース会社「TAKAMI BRIDAL」にて、ウェディングスタイリストとして長きに渡り式場やホテルの現場で婚礼衣装業務に携わってきた教員と、ドレスブランドマシェリにて、500組以上の挙式にスタイリストして携わった教員が、現場での経験を伝えながら指導する。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A — 4.0 90点～100点 B — 3.0 80点～89点 C — 2.0 70点～79点 D — 1.0 60点～69点 E — 出席不良 F — 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験及び実技試験とする
履修に当たっての留意点	テキスト、筆記用具、白手を持参すること

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無	担当講師
1.2	衣装決定までの業務について	[テキスト]JWSA ウエディングファッ ション	授業内容に応じ て自宅学習	福島
3.4	カウンセリングの手法 衣装選び、衣装のプレゼンテーションについて	[テキスト]JWSA ウエディングファッ ション 白手	授業内容に応じ て自宅学習	坂田・ 福島
5.6	ドレス小物のコーディネート／接客アテンドと花嫁様への アドバイスの実践、ドレスフィッティング	[テキスト]JWSA ウエディングファッ ション 白手	授業内容に応じ て自宅学習	坂田・ 福島
7.8	ドレスとメンズ衣装のフィッティングとポージング ドレスとメンズ衣装の組み合わせ	[テキスト]JWSA ウエディングファッ ション 白手	授業内容に応じ て自宅学習	坂田・ 福島
9,10	トータルコーディネートについて～イメージ	[テキスト]JWSA ウエディングファッ ション	授業内容に応じ て自宅学習	福島
11,12	グループに分かれ、ネットの画像から「キュート(WD)」を トータルコーディネートし、コラージュ作成	[テキスト]JWSA ウエディングファッ ション	授業内容に応じ て自宅学習	福島
13,14	「キュート(WD)」コーディネートのコメント作成、発表、 意見交換、フィードバック	[テキスト]JWSA ウエディングファッ ション	授業内容に応じ て自宅学習	福島
15,16	新婦の和装について 打掛、引き振袖のたたみ方	[テキスト]JWSA ウエディングファッ ション 白手	授業内容に応じ て自宅学習	坂田・ 福島
17,18	新婦の和装について 文様を調べる	[テキスト]JWSA ウエディングファッ ション 白手	授業内容に応じ て自宅学習	坂田・ 福島
19,20	新婦の和装について 打掛のフィッティング	[テキスト]JWSA ウエディングファッ ション 白手	授業内容に応じ て自宅学習	坂田・ 福島
21,22	新郎の和装について 紋服のたたみ方	[テキスト]JWSA ウエディングファッ ション 白手	授業内容に応じ て自宅学習	坂田・ 福島
23,24	家紋、列席衣装の和装について 留袖のたたみ方	[テキスト]JWSA ウエディングファッ ション 白手	授業内容に応じ て自宅学習	坂田・ 福島
25,26	和装コーディネート、トレンドについて	[テキスト]JWSA ウエディングファッ ション 白手	授業内容に応じ て自宅学習	坂田
27,28	定期試験に向けて総復習	[テキスト]JWSA ウエディングファッ ション 白手	授業内容に応じ て自宅学習	坂田・ 福島
29,30	定期試験			坂田・ 福島

対象学科	ウエディング科					
対象学年	2 学年	科目名	ドレスメンテナンス		担当名	北沢聡子
対象学期	後 期		講義	・ 演習 ・	実技 ・ 実習	単位/時間数

到達目標	ドレスメンテナンスの為に必要な技術演習を行いドレスコーディネーターに必要なメンテナンス技術を習得する
学習内容	ドレスデザイナー・コーディネーターとして10年以上の経験を持ち、上級洋裁講師でもある教員がドレスメンテナンスの基本を伝授する
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	毎回の持ち物を確認し、忘れずに持参して授業に参加すること

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1.2	様々な衣装店の形態を学びオリエンテーションを通して目標を確認する	テキスト・筆記用具・裁縫道具	裁縫道具の点検
3.4	道具の使い方について理解し、針と糸の扱いを演習する、運針と4つの基本縫いの意味を理解する	テキスト・筆記用具・裁縫道具	運針の練習
5.6	4つの基本縫い実習	テキスト・筆記用具・裁縫道具・シーチング	基本縫いの復習
7.8	メンテナンスの種類について理解し、ループの指編み実習を行う	テキスト・筆記用具・裁縫道具・シーチング	指編みの復習
9,10	メンズフォーマルのメンテナンスについて理解し、ボタン付け・スラックスの丈上げ実習を行う	テキスト・筆記用具・裁縫道具・シーチング・メンズスーツ	ボタン付けの復習
11,12	ホック・スナップ・パール・ビーズ・スパンコール・レースの取り付け実習を行う	シーチング・オーナメント一式・テキスト・裁縫道具	ホックやスナップを付け直す
13,14	アイロンの種類とかけ方を学び、アイロン実習	アイロン・衣装・筆記用具	自分のスーツにアイロンをかける
15,16	ドレスのお直しの箇所を理解し、直せるかどうかの判断とピン打ち実習	ドレス・裁縫道具・筆記用具	マチ針の扱いの復習
17,18	ドレスのお直し実習	ドレス・裁縫道具	お直しのコツの復習
19,20	ドレス・メンズフォーマルのサイズについて理解し、採寸実習を行う	メジャー・プライダルインナー・ टीーシャツ・筆記用具	採寸のポイントの復習
21,22	染み抜きと匂い取りの仕組みについて学び、染み抜き実習を行う	タオル・洗剤・ベンジン・筆記用具	自分の服の染み抜きをやってみる
23,24	芯について学び、特殊素材のチュールでリボンを制作する	チュール・テキスト・オーナメント・裁縫道具	制作したリボンに止め具を付ける
25,26	基本縫いを基にピンクッションを制作する	サテン・フェルト・綿・オーナメント・裁縫道具	提出物を切の良いたところまでやっておく
27,28	ピンクッションの仕上げ、定期試験二向けての総復習	裁縫道具・筆記用具	試験勉強
29,30	定期試験	筆記用具・提出物	—

対象学科	ウェディング科							
対象学年	1 学年	科目名	セルフビューティー(メイク&ネイル)A			担当名	門脇	
対象学期	前後 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習			単位/時間数	4単位	60 時間

到達目標	基礎的なメイク知識やテクニックを学び、理論的な考えの基、セルフでメイクを施せられるようになる。自分自身の美意識も接客サービスや身だしなみの一つとして考え、好みのメイクだけに偏らず様々な印象のメイクが出来るようになる。
学習内容	講師は、外資系メイクブランドのMACにて6年間美容部員を勤めた後、フリーランスに転身。様々な現場のメイクアップアーティストとして従事した後、現在は自身のアイブロウサロンで一般のお客様へアイブロウ施術やメイクレッスンをを行いながら、美容専門学校にてメイク講師として勤めている。セルフビューティの授業ではメイクの基本的な知識やテクニックを学び、生徒自身のメイク技術と美意識を高める。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	毎授業で自分の化粧道具を持参(どんなアイテムを使用するかは毎授業のコマシラバスを参照)持っていない道具は推奨しているメイク道具を準備お願いします。

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1.2	講師自己紹介・生徒他己紹介・授業内容説明とアンケート		
3.4	基本的なアイブロウの描き方・黄金比		
5.6	印象別のアイブロウの描き方		
7.8	アイシャドウの塗り方・グラデーションの作り方		
9,10	ベースメイクの塗り方、ツヤ肌メイクの作り方		
11.12	パーソナルカラーとは①ブルーベース・イエローベース		
13.14	パーソナルカラーとは② 4つのシーズンを知る		
15.16	フルメイクのバランスの取り方		
17.18	印象別メイク①フェミニンメイク		
19,20	印象別メイク②クールメイク(立体メイク)		
21.22	ネイル:ベース・ワンカラー・トップコート①		
23.24	ネイル:ベース・ワンカラー・トップコート②		
25.26	結婚式の参列メイク①		
27.28	結婚式の参列メイク②		
29,30	定期試験		

対象学科	ウェディング科				
対象学年	2 学年	科目名	パーソナルカラー検定A・B	担当名	岡永めぐみ
対象学期	前・後 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30時間

到達目標	ブライダル業界において、どの分野でも必要となる「カラー」の知識を資格を取るという目標と同時に、実際の現場においても活用出来る「応用力」と、様々なイメージの要望を色に置き換えて提案することが出来る「提案力」を身につけることが出来る基礎知識を身につける。
学習内容	色彩におけるあらゆる分野の資格を持ち、ブライダルでは新郎新婦への衣装の提案、ブーケやアクセサリーの提案と作成を行っている講師が、色で学生自身の外見のセンスアップと内面の健康を保つ知識とともにパーソナルカラー検定の資格取得をする。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	問題集は直接書き込まず、ノートを用意してください。

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	ブライダルで色の勉強をする意味を理解する	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	色相環、トーン図作成
2	色の三属性、トーンを学ぶ	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	色相環、トーン図作成
3	色の三属性、トーンを学ぶ、色の見極め方法を学ぶ	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	問題集P7、P9
4	4つのシーズンの特徴を理解する	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	問題集P14
5	4つのシーズンの特徴を理解する、色の見極めテスト	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	1週間ファッションシート
6	似合う色の基準を学ぶ	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	問題集P18
7	自分のボディカラーを知る	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	問題集P19
8	ドレーピング方法を学ぶ1	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	問題集P25
9	ドレーピング方法を学ぶ2	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	問題集P26
10	中間試験	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	試験の復習
11	対比、反射の影響を学ぶ	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	授業で終わらなかったプリント
12	似合う色の取り入れ方を学ぶ	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	問題集P30、P31
13	配色方法を学ぶ	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	問題集P11
14	模擬試験	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	試験の復習
15	定期試験	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	

対象学科	ウェディング科				
対象学年	2 学年	科目名	ブライダル顧客心理A・B	担当名	廣瀬 祐子
対象学期	前・後 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	昨今のブライダル顧客の傾向把握と結婚式検討～準備～本番前後までの心理状態への理解を深め、顧客の気持ちに寄り添う自分らしい接客スタイルを身につける																					
学習内容	ホテル、ゲストハウス、プロデュース会社にて勤務経験のある講師が、これまで実際に経験した新郎新婦とのエピソードを交えた心理状態の解説、及びスタッフ・顧客それぞれの立場に立った実践ワークを通して微細に遷移する顧客心理を学べる授業を実施。																					
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点　合計点数100点にて成績を算出する <table><tr><td>評価</td><td>GPA</td><td>合計点数</td></tr><tr><td>A</td><td>— 4. 0</td><td>90点～100点</td></tr><tr><td>B</td><td>— 3. 0</td><td>80点～89点</td></tr><tr><td>C</td><td>— 2. 0</td><td>70点～79点</td></tr><tr><td>D</td><td>— 1. 0</td><td>60点～69点</td></tr><tr><td>E</td><td>— 出席不良</td><td></td></tr><tr><td>F</td><td>— 0. 0</td><td>59点以下（不合格）</td></tr></table> ※定期試験は筆記試験とする	評価	GPA	合計点数	A	— 4. 0	90点～100点	B	— 3. 0	80点～89点	C	— 2. 0	70点～79点	D	— 1. 0	60点～69点	E	— 出席不良		F	— 0. 0	59点以下（不合格）
評価	GPA	合計点数																				
A	— 4. 0	90点～100点																				
B	— 3. 0	80点～89点																				
C	— 2. 0	70点～79点																				
D	— 1. 0	60点～69点																				
E	— 出席不良																					
F	— 0. 0	59点以下（不合格）																				
履修に当たっての留意点	筆記用具は毎回持参してください。																					

授業回数別教育内容

回数	授業内容（予定）	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	顧客心理を学ぶ目的と昨今の顧客傾向	筆記用具	
2	自分が結婚式をするなら？理想を考えてみるワーク		
3	会場探し～会場下見～会場決定時の顧客心理		
4	初回カウンセリングの重要性		
5	ドレス検討時の顧客心理		
6	招待ゲスト検討時の顧客心理		
7	装花装飾検討時の顧客心理		
8	料理・演出・記録検討時の顧客心理		
9	最終打合せ時の顧客心理		
10	結婚式当日と後日の顧客心理		
11	結婚式検討～準備中～式後の顧客心理遷移まとめ		
12	クレーム対応実習①（プランナー編）		
13	クレーム対応実習②（プランナー以外編）		
14	ブライダル顧客心理まとめ		
15	定期試験		

対象学科	ウェディング科			
対象学年	2 学年	英会話演習A/B		ILC
対象学期	前後 期	講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習		2単位 30時間
到達目標	学生は、挨拶する・自身の考えを伝える・相手が言っていることを理解する、などの基本の英会話と、ホテル業界の様々なビジネスシーンにおけるシチュエーションの会話を習得する。			
学習内容	滋慶英語教育に長く携わってきたネイティブの教師が、学生がホテル特有のシチュエーションにおいて外国人を前に自信を持って対応できることを目的としたコミュニケーション主体の授業を行う。			
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする			
履修に当たっての留意点	予め教科書を読み、予習しておくこと。また、授業後復習をし、より確実に身につけることが望ましい。			

授業回数別教育内容

回数・日程	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	■コース紹介 ■Warm Upアクティビティ: 英語コミュニケーションゲームなど ■Can talk about travel 旅行について話すことができる ■Can discuss tours ツアーについて議論することができる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Unit 1	授業内容に応じて、自宅学習
2	■Warm Upアクティビティ: 英語コミュニケーションゲームなど ■Can talk about jobs 仕事について話すことができる ■Can deal with check in at the airport 空港出チェックイン対応ができる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Unit 2 & 3 -A	授業内容に応じて、自宅学習
3	■Warm Upアクティビティ: 英語コミュニケーションゲームなど ■Can understand directions at an airport 空港の案内が理解できる ■Can talk about procedures at immigrations 入国審査の手続きについて話すことができる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Unit 3 -B & 4	授業内容に応じて、自宅学習
4	■Warm Upアクティビティ: 英語コミュニケーションゲームなど ■Can deal with lost items at an airport 空港で喪失物の対応ができる ■Can deal with enquiries about hotel accomodation ホテルの空き状況についての問い合わせに対応できる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Unit 5 & 6-A	授業内容に応じて、自宅学習
5	■Can check guests in and out お客様のチェックインとチェックアウトの対応ができる ■Can talk about hotel breakfast and fast food ホテルの朝食やファストフードについて話すことができる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Unit 6-B & 7	授業内容に応じて、自宅学習
6	■Can explain sighseeing tours 観光ツアーについて説明できる ■Can assist guests with souvenir shopping お客様がお客様を購入する際にサポートできる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Unit 8 & 9	授業内容に応じて、自宅学習
7	■Warm Upアクティビティ: 英語コミュニケーションゲームなど ■Can assist customers with transportation needs 公共交通機関についてお客様のサポートができる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Unit 10	授業内容に応じて、自宅学習
8	■Warm Upアクティビティ: 英語コミュニケーションゲームなど ■Can assist customers with problems and health issues トラブルや体調不良の問題についてお客様をサポートできる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Unit 11	授業内容に応じて、自宅学習
9	■Warm Upアクティビティ: 英語コミュニケーションゲームなど ■Can explain transport options to the airport 空港までの交通ルートを説明できる ■Can explain procedure at a Ryokan 旅館の手続きを説明できる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Traveling in Japan 1&3, 4&5	授業内容に応じて、自宅学習
10	■Warm Upアクティビティ: 英語コミュニケーションゲームなど ■Can explain Japanese meals at a Ryokan 旅館の日本食を説明できる ■Can explain Japanese souvenirs 日本のお土産について説明できる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Traveling in Japan 6, 7, 8	授業内容に応じて、自宅学習
11	■Warm Upアクティビティ: 英語コミュニケーションゲームなど ■Can buy bullet train tickets 新幹線の切符を購入できる ■Can take a taxi タクシーを利用できる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Traveling in Japan 9, 10	授業内容に応じて、自宅学習
12	■Warm Upアクティビティ: 英語コミュニケーションゲームなど ■Can give advice on sightseeing 観光のアドバイスができる ■Can explain about City Tours 市内観光について説明できる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Traveling in Japan 11	授業内容に応じて、自宅学習
13	■Warm Upアクティビティ: 英語コミュニケーションゲームなど ■Can give recommendation for places to visit 観光のおすすめスポットを提案できる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Traveling in Japan 12	授業内容に応じて、自宅学習
14	■Review of course materials-cosolidation through role play これまで学習した内容の復習—ロールプレイを通して理解を強化 ■Test Preparation 試験勉強	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic	授業内容に応じて、自宅学習
15	定期試験	/	/

対象学科	ウェディング科				
対象学年	2	学年	TOEIC受験対策		ILC
対象学期	1	期	講義	演習・実技・実習	2単位 30 時間

到達目標	TOEIC 400-450点台の取得を目指す。
学習内容	TOEICの受験準備として、レベル別(Step 1 ～ Step 3) で英語の文法、語彙を学びながら、英語の読解力、聴解力を高める。毎回授業でTOEIC試験の全パート(Part 1 ～ Part 7) の問題形式を練習し、得点を高めるスキルを学ぶ。 また、トピック・場面別で日常会話・ビジネス会話に使える表現も学ぶ。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	予め教科書を読み、予習してくる。また、授業後復習をし、より確実に身につけることが望ましい。

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	■Step 1 Unit 1 Restaurants * 文法点: 人称代名詞	TOEIC® L&R TESTへの総合アプローチ -ベーシック-	授業内容に応じて、自宅学習
2	■Step 1 Unit 2 Entertainment * 文法点: 不定代名詞	TOEIC® L&R TESTへの総合アプローチ -ベーシック-	授業内容に応じて、自宅学習
3	■Step 1 Unit 3 Business * 文法点: 再帰代名詞	TOEIC® L&R TESTへの総合アプローチ -ベーシック-	授業内容に応じて、自宅学習
4	■Step 1 Unit 4 Office * 文法点: 現在完了形	TOEIC® L&R TESTへの総合アプローチ -ベーシック-	授業内容に応じて、自宅学習
5	■Step 1 Unit 5 Telephone * 文法点: 動詞「主語と動詞の一致」	TOEIC® L&R TESTへの総合アプローチ -ベーシック-	授業内容に応じて、自宅学習
6	■Step 2 Unit 6 Letters & E-mails * 文法点: 形容詞	TOEIC® L&R TESTへの総合アプローチ -ベーシック-	授業内容に応じて、自宅学習
7	■Step 2 Unit 7 Health * 文法点: 前置詞「時・期間」	TOEIC® L&R TESTへの総合アプローチ -ベーシック-	授業内容に応じて、自宅学習
8	■Step 2 Unit 8 The Bank & The Post Office * 文法点: 前置詞「所属・関連」	TOEIC® L&R TESTへの総合アプローチ -ベーシック-	授業内容に応じて、自宅学習
9	■Step 2 Unit 9 New Products * 文法点: 数量形容詞	TOEIC® L&R TESTへの総合アプローチ -ベーシック-	授業内容に応じて、自宅学習
10	■Step 3 Unit 10 Travel * 文法点: 自動詞と他動詞	TOEIC® L&R TESTへの総合アプローチ -ベーシック-	授業内容に応じて、自宅学習
11	■Step 3 Unit 11 Daily Life * 文法点: 接尾辞と品詞一形容詞	TOEIC® L&R TESTへの総合アプローチ -ベーシック-	授業内容に応じて、自宅学習
12	■Step 3 Unit 12 Job Applications * 文法点: 比較	TOEIC® L&R TESTへの総合アプローチ -ベーシック-	授業内容に応じて、自宅学習
13	■Step 3 Unit 13 Shopping * 文法点: 受動態	TOEIC® L&R TESTへの総合アプローチ -ベーシック-	授業内容に応じて、自宅学習
14	■Step 3 Unit 14 Education * 文法点: 接続詞「相関接続詞」	TOEIC® L&R TESTへの総合アプローチ -ベーシック-	授業内容に応じて、自宅学習
15	復習 & 定期試験	/	/

対象学科	ウェディング科		
対象学年	2 学年	ブライダルSNS演習A	長谷川 円香
対象学期	前 期	講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	2単位 30 時間

到達目標	近年、企業が最も力を入れていきたい！と考えているSNS戦略。商品やサービスが売れる仕組みを知り、SNSを効果的に表現出来る方法を身につけることを目標とする。
学習内容	婚礼プロデュース会社15年勤務・フリープランナー経験8年・フリーMC歴15年。会社経営者。行政・企業のSNS運用・イベント集客なども手がける講師が、マーケティングの基本中の基本について具体的に演習を行う。基礎知識が何もわからなくても受講可能な入門中の入門編。SNSの特性や違いを知る。インスタグラム運用に特化。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	ノート、筆記用具を持参すること。(ハサミ・糊などを使用する場合は事前に告知)スマートフォンまたはタブレットPCを準備して、情報収集が可能な状態で参加すること

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	オリエンテーション 講座の流れ・到達目標の共有・自己分析	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
2	魅力的な自分自身のプロフィールを作ってみよう	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
3	各SNSの特徴・誰もが知っている企業のSNS研究 (youtube・facebook・TikTok・Instagram・X等)	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
4	各SNSの特徴・誰もが知っている企業のSNS研究 (youtube・facebook・TikTok・Instagram・X等)	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
5	ペルソナ設定・ペルソナの悩みとは・共感を呼ぶコンテンツづくりハッシュタグ研究	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
6	インスタグラムの入門 (OKなことNGなことを知)	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
7	目的別リール作成 (ステップ型・問題解決型・メリット型)	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
8	目的別リール作成(ステップ型・問題解決型・メリット型)	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
9	目標設定・運用プラン作成(ペルソナ設定)	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
10	学校Instagramの記事作成	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
11	学校Instagramの記事作成	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
12	学校Instagramの記事作成とインサイト研究	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
13	学校Instagramの記事作成とインサイト研究	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
14	学校Instagramの記事作成とインサイト研究	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
15	定期試験		

対象学科	ウェディング科		
対象学年	2 学年	ブライダルSNS演習B	長谷川 円香
対象学期	後 期	講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	2単位 30 時間

到達目標	近年、企業が最も力を入れていきたい！と考えているSNS戦略。商品やサービスが売れる仕組みを知り、SNSを効果的に表現出来る方法を身につけることを目標とする。
学習内容	婚礼プロデュース会社15年勤務・フリープランナー経験8年・フリーMC歴15年。会社経営者。行政・企業のSNS運用・イベント集客なども手がける講師が、マーケティングの基本中の基本について具体的に演習を行う。基礎知識が何もわからなくても受講可能な入門中の入門編。SNSの特性や違いを知る。インスタグラム運用に特化。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	ノート、筆記用具を持参すること。(ハサミ・糊などを使用する場合は事前に告知)スマートフォンまたはタブレットPCを準備して、情報収集が可能な状態で参加すること

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	オリエンテーション 講座の流れ・到達目標の共有・自己分析	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
2	魅力的な自分自身のプロフィールを作ってみよう	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
3	各SNSの特徴・誰もが知っている企業のSNS研究 (youtube・facebook・TikTok・Instagram・X等)	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
4	各SNSの特徴・誰もが知っている企業のSNS研究 (youtube・facebook・TikTok・Instagram・X等)	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
5	ペルソナ設定・ペルソナの悩みとは・共感を呼ぶコンテンツづくりハッシュタグ研究	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
6	インスタグラムの入門 (OKなことNGなことを知る)	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
7	目的別リール作成 (ステップ型・問題解決型・メリット型)	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
8	目的別リール作成(ステップ型・問題解決型・メリット型)	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
9	目標設定・運用プラン作成(ペルソナ設定)	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
10	学校Instagramの記事作成	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
11	学校Instagramの記事作成	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
12	学校Instagramの記事作成とインサイト研究	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
13	学校Instagramの記事作成とインサイト研究	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
14	学校Instagramの記事作成とインサイト研究	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
15	定期試験		

対象学科	ウェディング科		
対象学年	2 学年	マーケティングA	長谷川 円香
対象学期	前 期	講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	2単位 30 時間

到達目標	ブライダル業界のマーケティングの基礎知識を得ることで、効果的な集客に対する適切な広報活動方法を身につける。サービスの魅力をお客様向けに表現することを目標とする。
学習内容	婚礼プロデュース会社15年勤務・フリーランナー経験8年・フリーMC歴15年。会社経営者。行政・企業のSNS運用・イベント集客なども手がける講師が、マーケティングの基本中の基本について具体的に演習を行う。基礎知識が何もわからなくても受講可能な入門中の入門編。楽しく学ぶマーケティングの基礎
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	ノート、筆記用具を持参すること。(ハサミ・糊などを使用する場合は事前に告知)スマートフォンまたはタブレットPCを準備して、情報収集が可能な状態で参加すること

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	オリエンテーション・自己紹介・到達目標の共有 マーケティングの基本【4P / 4C】	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
2	「マーケティング」での「顧客」の定義。 ホテル・サービス業におけるペルソナを知る。	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
3	【グループワーク】準備 ペルソナが求める会場タイプ別の魅力分析	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
4	【グループワーク】準備 会場の魅力についてプレゼンテーション準備	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
5	共感を呼ぶコンテンツづくり ハッシュタグ研究	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
6	行動経済学を知ってマーケティングに活かそう！ マリッジブルーになる花嫁が多いのか？など。	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
7	【グループワーク】準備 市場におけるニーズの分析・SNSの特性研究 世代や属性によるSNSの特性を知る	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
8	【グループワーク】発表 市場におけるニーズの分析・SNSの特性研究 世代や属性によるSNSの特性を知る	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
9	【グループワーク】準備 広報力の分析・言葉をお金に変えるには 売れるキャッチコピーを考えてみよう	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
10	【グループワーク】発表 広報力の分析・言葉をお金に変えるには 売れるキャッチコピーを考えてみよう	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
11	集客案作成①マーケティングを活かしてブライダル 広報記事を作ってみよう。	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
12	集客案作成②マーケティングを活かしてブライダル 広報記事を作ってみよう。	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
13	集客案作成③マーケティングを活かしてブライダル 広報記事を作ってみよう。	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
14	集客案作成④マーケティングを活かしてブライダル 広報記事を作ってみよう。	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
15	定期試験		

対象学科	ウェディング科		
対象学年	2 学年	カリグラフィー入門A/B	阿部 英衣
対象学期	前後 期	講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	2単位 30 時間

到達目標	カリグラフィーの基礎的な知識を学び、花嫁様の希望を叶えるウェディングアイテムを作ることができるようにする。
学習内容	カリグラファーによるハイクオリティのウェルカムボードを作る技術の演習。文字を書くという手仕事を通じ、個性の表現を身につける。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は実技試験とする
履修に当たっての留意点	カリグラフィー道具の持参/授業内容に応じて自宅学習有

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	道具の使い方と書体の特徴	テキスト(当日配付)	授業内容に応じて自宅学習
2	小文字の書き方1	テキスト(当日配付)	授業内容に応じて自宅学習
3	小文字の書き方2	テキスト(当日配付)	授業内容に応じて自宅学習
4	大文字の書き方1	テキスト(当日配付)	授業内容に応じて自宅学習
5	大文字の書き方2	テキスト(当日配付)	授業内容に応じて自宅学習
6	数字の書き方と小文字・大文字のチェックテスト	テキスト(当日配付)	授業内容に応じて自宅学習
7	カード作り(Groom・Brideカード)	テキスト(当日配付)	
8	平筆の使い方1	テキスト(当日配付)	授業内容に応じて自宅学習
9	平筆の使い方2	テキスト(当日配付)	授業内容に応じて自宅学習
10	ミニウェルカムボード作り1	テキスト(当日配付)	授業内容に応じて自宅学習
11	ミニウェルカムボード作り2		
12	ウェルカムボード作り1		授業内容に応じて自宅学習
13	ウェルカムボード作り2		授業内容に応じて自宅学習
14	ウェルカムボード作り3		授業内容に応じて自宅学習
15	ウェルカムボード作り4(定期試験作品提出)		

対象学科	ウェディング科			担当名	矢越了子・岡永めぐみ 佐野みゆき
対象学年	2 学年	科目名	トータルビューティA・B	単位/時間数	2単位 60時間
対象学期	前・後 期		講義 ・ 演習 (実技) ・ 実習		

到達目標	【ピラティス】ピラティスの知識と技術を学び、自身が健康的に働き続けられる基本姿勢を養うことができる。また、得た知識で新郎新婦様に姿勢やリラクセス方法などの助言ができる人材を育成する。【ジュエリー】アクセサリーという、挙式ではなくてはならないアイテムを基本的な知識から学ぶ。工具や様々なアイテムの使い方、また、既存の修復方法等、現場でアクセサリー関係のアクシデントがあった時の対応が出来るようにする。また近年の和装人気に対応出来るように水引の結び方もマスターし、小物が作れるようになる。【エステ】スキンケアやストレスリリースの知識を習得し、ビューティでのセルフプロデュース力を向上する。																					
学習内容	【ピラティス】ピラティスがどのように生まれ、どのように普及したのか、その歴史を知り、現代におけるその目的と効果を理解し、自身の身体に効果を感じる。【ジュエリー】色彩におけるあらゆる分野の資格を持ち、ブライダルでは新郎新婦への衣装の提案、ブーケやアクセサリーの提案と作成を行っている講師が、基本的な工具の使い方から既存のアクセサリーの修理・修復が出来るようする。また、水引の基本的な結び方を学び、小物が作れるようになる。【エステ】スキンケアやマッサージの方法を習得してインナービューティのセルフプロデュース力を身につける。アロマセラピーを用いてリラクゼーションテクニックを習得し実践できるようにする。																					
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する <table><tr><td>評価</td><td>GPA</td><td>合計点数</td></tr><tr><td>A</td><td>－ 4.0</td><td>90点～100点</td></tr><tr><td>B</td><td>－ 3.0</td><td>80点～89点</td></tr><tr><td>C</td><td>－ 2.0</td><td>70点～79点</td></tr><tr><td>D</td><td>－ 1.0</td><td>60点～69点</td></tr><tr><td>E</td><td>－</td><td>出席不良</td></tr><tr><td>F</td><td>－ 0.0</td><td>59点以下(不合格)</td></tr></table> ※定期試験は筆記試験とする	評価	GPA	合計点数	A	－ 4.0	90点～100点	B	－ 3.0	80点～89点	C	－ 2.0	70点～79点	D	－ 1.0	60点～69点	E	－	出席不良	F	－ 0.0	59点以下(不合格)
評価	GPA	合計点数																				
A	－ 4.0	90点～100点																				
B	－ 3.0	80点～89点																				
C	－ 2.0	70点～79点																				
D	－ 1.0	60点～69点																				
E	－	出席不良																				
F	－ 0.0	59点以下(不合格)																				
履修に当たっての留意点	【ジュエリー】爪が長すぎると作業がしにくいいため、少しカットしておくことをおすすめします。また、自分で持っているアクセサリーで使いにくいものや、金具が壊れているものを持参してもらえると、自分で直すことができます。【エステ】授業時に配布するプリントを使用する。演習用のタオルを準備する。																					

授業回数別教育内容 1～5回ピラティス・6～9回ジュエリー・10～14回エステ・15回定期試験

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	「ピラティスってなんですか?」「実際のピラティスセッション」 「ピラティス イントロダクトリーマットエクササイズ」		
3,4	「ピラティス解剖学」「ピラティスの原理原則」		
5,6	「初級マットエクササイズ」		
7,8	「初級マットエクササイズ」		
9,10	筆記試験 自己採点とフィードバック 「ストレッチの効果」		
11,12	自己紹介・工具の使い方・アイテムの紹介/ 天然石のリング作成(テグスを使う作業)		
13,14	9ピン・Tピン・丸カンなどの使い方・色々な素材紹介/ ネックレス制作(9ピン、Tピン、丸カン作業)		
15,16	水引の歴史紹介・水引の扱い方/淡路結び・菜の花結び(ピアス作成orイヤリング作成)		
17,18	試験/水引 (玉結びでネックレスorピアスorイヤリング作成)		
19,20	手のマッサージ・ツボを知る	配付プリント	
21,22	スキンケア/スペシャルケア(スクラブ・パック)	配付プリント	
23,24	アロマセラピー/香りの効果(クラフト作成:バスボム)	配付プリント	
25,26	足のマッサージ・ツボを知る	配付プリント	
27,28	アロマセラピーを用いたケア/クラフト作成:ルームスプレー	配付プリント	
29,30	定期試験	ヨガ・ジュエリー・エステ20点ずつ(合計60点)の試験を実施	

対象学科	総合ウェディング科									
対象学年	1 学年	科目名	ブライダルブーケ A				担当名	松浦 麻子		
対象学期	前 期		講義	・	演習	・	実技	・	実習	単位/時間数

到達目標	ブーケ、ヘアドレス等作成の実技を通して得る生きた知識を自分の専門分野に活用できる。ブーケスタイルによる特徴や美しさ、構造による留意点と優れた点、効果的な取扱いとトラブル対応などを説明、実践でき、さらに各自の専門性と掛け合わせて言葉で表現できる。
学習内容	9年間ホテル婚礼装花の業務経験のある教員が、生花、ドライフラワー、アーティフィシャルフラワーを用いた多彩なブーケやヘア装飾を教える。プランナー等各専門分野に役立つ着眼点で、花材の種類、ブーケスタイル、構造の特徴や取り扱いを習得し、プランニング等の付加価値を高める。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点　合計点数100点にて成績を算出する 評価　　GPA　　合計点数 A　　－　4.0　　90点～100点 B　　－　3.0　　80点～89点 C　　－　2.0　　70点～79点 D　　－　1.0　　60点～69点 E　　－　出席不良 F　　－　0.0　　59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	生花を使う場合は水揚げ作業あり/毎回の授業に振り返り有り/作成物毎回持帰り

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1.2	授業オリエンテーション 【ドライフラワーのクラッチブーケ】取扱いと作り方説明 ブーケ作成	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
3.4	【生花のクラッチブーケ】 現場取扱いと水揚げ説明 水揚げ・ブーケ・ヘアード作成	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
5.6	【生花の花冠】 注意点説明 花冠作成・感想発表	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
7.8	【アーティフィシャルフラワーのラウンドブーケ】 ブーケホルダー使用 取扱説明 ブーケ(ブートニア)作成	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
9.10	【生花のラウンドブーケ】 ブーケホルダー使用 生花、造花、ドライ比較解説 ブーケ(ブートニア)作成	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
11.12	【生花のティアドロップブーケ】 ブーケホルダー使用 作り方説明 水揚げ・作成・リボン取付	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
13.14	【アーティフィシャルフラワーのキャスケードブーケ】 ブーケホルダー使用 ホルダー等のメリットデメリット解説 作成	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
15.16	【生花のキャスケードブーケ】ブーケホルダー使用 作り方説明 水揚げ・ブーケ作成	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
17.18	【アーティフィシャルフラワー、生花のブートニア】 作り方説明 生花水揚げ・ブートニア作成	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
19.20	【生花のボールブーケ】 作り方、注意点説明 水揚げ・デザイン・ブーケ作成	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
21.22	【生花のバッグ型ブーケ】 作り方、注意点説明 ブーケ作成	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
23.24	【アーティフィシャルフラワーのマフブーケ】 作り方説明 ブーケ作成・感想発表	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
25.26	【アーティフィシャルフラワーのチューテブーケ】 作り方説明 ブーケデザイン・作成・感想発表	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
27.28	【アーティフィシャルフラワーのリングブーケ】 作り方説明 ブーケデザイン・作成・感想発表	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
29.30	定期試験:実技	持ち帰り用袋	なし

対象学科	ウェディング科				
対象学年	2 学年	科目名	ブライダルトrend研究	担当名	遠藤智緒里
対象学期	前 期		講義 ・ 演習 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	# プレ花嫁が考えていること、# 卒花嫁が思ったことなどから、業界で流行っている(トレンド)結婚式の良いところ、悪いところを探し出し、結婚式の知識を膨らますと共に、業界に対して、最良の結婚式とはどのような結婚式なのかを考え、企画し、提案・発信するスキルを習得する。
学習内容	業界歴25年以上ウェディングスタイリストとして、衣装・美容・写真・映像・空間コーディネートの業界トレンド研究を行い、ブライダル総研の学生のアイデアコンテストにおいて「グランプリ」に導いた講師が研究⇒企画⇒提案のノウハウを伝授。「SNSの# 卒花嫁・# プレ花嫁を大研究！～流行のお洒落結婚式を企画してみよう～」と題して、お洒落な結婚式をInstagramなどのSNSから情報収集し、トレンドの結婚式を考え(研究)、良い結婚式をプランニング(企画)し、プレゼンテーション(提案)をする。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A － 4.0 90点～100点 B － 3.0 80点～89点 C － 2.0 70点～79点 D － 1.0 60点～69点 E － 出席不良 F － 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験はプレゼンテーションとする
履修に当たっての留意点	Instagram、Pinterest、ゼクシィなどを用いて情報収集をするので、アプリ等のダウンロードは必須

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	オリエンテーション:到達目標・学習内容の説明 トレンド(流行り)とは/流行っているモノ探し	ゼクシィ・パソコン スマートフォン・ハサミ・のり	お洒落ウェディング画像を見てくる
2	【情報収集】芸能人の結婚式 結婚式で流行っているモノ探し 会場・衣装・美容・写真・ムービー・装花・演出 等	ゼクシィ・パソコン スマートフォン・ハサミ・のり	
3	【情報収集】テーマを決めて、Pinterestから世界のトレンドのお洒落結婚式画像の収集	ゼクシィ・パソコン スマートフォン・ハサミ・のり	
4	【ワーク】コラージュ ゼクシィから好きなモノを集めてコラージュする	ゼクシィ・パソコン スマートフォン・ハサミ・のり	
5	【情報収集】Instagramから #卒業花嫁の声 #プレ花嫁の声を収集	ゼクシィ・パソコン スマートフォン	好きなキャラクター 好きな色を考えてくる
6	【情報共有】 情報収集で得た情報を発表し、共有する	ゼクシィ・パソコン スマートフォン	
7	【研究】キャラクターウェディング キャラクターを絞り、〇〇ウェディングを考える	ゼクシィ・パソコン スマートフォン	
8	【研究】カラー(色)のウェディング トレンドの色を研究し、〇〇(色)ウェディングを考える	ゼクシィ・パソコン スマートフォン	
9	【研究】トレンドアイテム アイテムを1つ絞り、グループでトレンド商品研究を行う	ゼクシィ・パソコン スマートフォン	プレゼンテーションの 練習をしてくる
10	【企画】商品企画 これから流行るかも?ウェディング商品企画	ゼクシィ・パソコン スマートフォン	
11	【企画】トレンドの〇〇ウェディングをプレゼンテーション プレゼンテーション資料をPowerPointで作成する	ゼクシィ・パソコン スマートフォン	
12	【発表準備・調整】 プレゼンテーションの準備と調整	ゼクシィ・パソコン スマートフォン	
13	【発表のリハーサル】 プレゼンテーションのリハーサルを行う	ゼクシィ・パソコン スマートフォン	プレゼンテーションの 練習をしてくる
14	定期試験(プレゼンテーション) フィードバック	ゼクシィ・パソコン スマートフォン	
15	定期試験(プレゼンテーション) フィードバック	ゼクシィ・パソコン スマートフォン	

対象学科	ウェディング科				
対象学年	2 学年	科目名	未来型ウェディング プレゼンテーション	担当名	和田 翔太郎
対象学期(Q)	前 期			単位/時間数	2単位 30 時間
		講義	演習・実技・実習		

到達目標	ウェディング業界の未来について様々な角度から考えを巡らせる中で、想像力と業界理解度を高めると同時に、自分の意見をプレゼンテーションとしてまとめて発表するアウトプットの力を身に着ける
学習内容	ウェディング業界の未来を考えるにあたり、「ウェディングプランナーの仕事はAIに取って代わられるか？」をテーマに差別化の未来と共存の未来をそれぞれ考察し、実際にプランナーや教員にプレゼンテーションを評価してもらう
成績評価の方法と基準	出席点40点＋実技演習60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A － 4.0 90点～100点 B － 3.0 80点～89点 C － 2.0 70点～79点 D － 1.0 60点～69点 E － 出席不良 F － 0.0 59点以下(不合格)
履修に当たっての留意点	筆記用具・PC

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1～3	4/15 1～3限 オリエンテーション AIとウェディングについて チーム分け 資料作成調査	筆記用具	
4～7	4/22 1～4限 資料作成調査 プレゼンテーションについて 資料完成・プレゼン練習	筆記用具	資料収集 (必要に応じて)
8～11	5/7 1～4限 プレ プレゼンテーション 最終準備 プレ プレゼンテーション 実践 質問と課題振り返り・ブラッシュアップ	筆記用具	資料収集 プレゼン制作 (必要に応じて)
12～15	5/13 1～4限 本番 プレゼンテーション 最終準備 本番 プレゼンテーション 実践 振り返り・レポート提出	筆記用具	プレゼン練習 プレゼン制作 (必要に応じて)

対象学科	ウェディング科		
対象学年	2 学年	科目名	ウェディングフォト
対象学期	前 期	講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	担当名 入江信也 遠藤智緒里
			単位/時間数 2単位 60 時間

到達目標	ウェディングフォト(婚礼写真)の知識を学ぶことで、商品説明ができ、商品手配業務ができる。また、スマートフォンを使用した撮影、編集ができる。
学習内容	ウェディングプランナーとウェディングフォトグラファーである講師がタッグを組んで行う。ウェディングフォトの基礎知識、販売スキル、撮影技術など、ウェディングフォトの魅力を伝える授業。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	テキスト・筆記用具・パソコン(指定日)・スマートフォンを持参すること

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	オリエンテーション／素敵なウェディングフォトとは 写真の歴史と日本の通過儀礼について	テキスト:JWSA③ WEDDINGPHOTO スマートフォン	
3,4	ウェディングフォトの接客及び業務の流れ ウェディングフォトの商品とは	テキスト:JWSA③ WEDDINGPHOTO スマートフォン	
5,6	スタジオ写真「記念写真」「親族写真の並べ方」「新婦和装の振付」について	テキスト:JWSA③ WEDDINGPHOTO スマートフォン	
7,8	基礎知識「写真を撮るためのカメラの基礎用語と基礎知識」「カメラの特徴」	テキスト:JWSA③ WEDDINGPHOTO スマートフォン	
9,10	構図とアングル／プロップ(小物)撮影 スマートフォンを使用して撮影実践	テキスト:JWSA③ WEDDINGPHOTO スマートフォン	
11,12	スナップ写真「挙式の式次第と撮影ポイント」「披露宴の進行と撮影ポイント」	テキスト:JWSA③ WEDDINGPHOTO スマートフォン	
13,14	SNSの効果と注意点／Instagramを使用した広報	テキスト:JWSA③ WEDDINGPHOTO スマートフォン	
15,16	スマートフォン撮影とアプリ編集	テキスト:JWSA③ WEDDINGPHOTO スマートフォン	
17,18	ロケーションフォト「手順と撮影シーンについて」	テキスト:JWSA③ WEDDINGPHOTO スマートフォン	
19,20	HWAIウェディング 海外フォトウェディング「手順と撮影の注意点」	テキスト:JWSA③ WEDDINGPHOTO スマートフォン	
21,22	フォトコンテスト準備(フォトコンテスト8/28～8/30)	テキスト:JWSA③ WEDDINGPHOTO スマートフォン	
23,24	「ウェディングフォトの編集加工テクニック」「製本方法、手配業務について」「アルバム構成テクニック」	テキスト:JWSA③ WEDDINGPHOTO スマートフォン	
25,26	ウェディング映像「商品とその特徴」「映像商品の接客」	テキスト:JWSA③ WEDDINGPHOTO	
27,28	まとめ／定期試験(JWSA認定試験)	テキスト:JWSA③ WEDDINGPHOTO	
29,30	PowerPointで、写真集を作ってみよう！	テキスト:JWSA③ WEDDINGPHOTO スマートフォン・パソコン	

対象学科	ウェディング科			
対象学年	2 学年	科目名	ハウスセールスI	担当名 田中 絵巳
対象学期	前 期		講義 ・ 演習 実技 ・ 実習	単位/時間数 2単位 30 時間

到達目標	「集客～新規接客～成約の流れを理解し、新規接客カウンセリング時の質問・会話の意図を説明できること」 ①認知:集客～新規接客～成約までの流れと新規接客カウンセリングですべき質問・会話の意図を理解する ②感情:ハウスセールスって面白い、やってみたい ③行動:集客～新規接客～成約までの流れと新規接客カウンセリングの質問・会話の意図を説明できる ④対人関係:各項目を他者に説明できる(テストにて確認)
学習内容	ウェディング企業にて約7年勤務のち、ウェディング関連の専門学校にて4年登壇していた教員がゲストハウスでの新規接客での各項目で実施する質問・会話の意図を教える。前期は意図理解、後期は実践編と分けることにより、型(セールストーク)だけを教えるのではなく、プランナーとして必要な知識と姿勢を習得する。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	持ち物:筆記用具とメモ帳、定期試験日はパソコン持参 服装:私服

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	【オリエンテーション】 ウェディング業界理解／歴史	スライド使用	必要に応じて自宅で前回の復習
2	【企業研究】 大手ゲストハウス系企業①	スライド使用	必要に応じて自宅で前回の復習
3	【企業研究】 大手ゲストハウス系企業②	スライド使用	必要に応じて自宅で前回の復習
4	【企業研究／集客】 クチコミ分析	スライド使用	必要に応じて自宅で前回の復習
5	【企業研究】 多様なゲストハウス系企業①	スライド使用	必要に応じて自宅で前回の復習
6	【企業研究】 多様なゲストハウス系企業②	スライド使用	必要に応じて自宅で前回の復習
7	【地域特性】 結婚式の地域特性	スライド使用	必要に応じて自宅で前回の復習
8	【新規接客／フェア】 セールスの役割、フェアの内容理解	スライド使用	必要に応じて自宅で前回の復習
9	【新規接客／カウンセリング①】 挨拶・アイスブレイク、希望ヒヤリング	スライド使用	必要に応じて自宅で前回の復習
10	【新規接客／カウンセリング②】 日程カウンセリング、六輝	スライド使用	必要に応じて自宅で前回の復習
11	【新規接客／日程提示・会場見学】 会場見学、席次表	スライド使用	必要に応じて自宅で前回の復習
12	【新規接客／見積もり①】 お見積書の見方、説明	スライド使用	必要に応じて自宅で前回の復習
13	【新規接客／見積もり②】 お見積書の見方、説明	スライド使用	必要に応じて自宅で前回の復習
14	【成約】 仮予約、申し込み、規約、宿泊、二次会	スライド使用	必要に応じて自宅で前回の復習
15	定期試験	各授業の振り返り資料持参 パソコン	定期試験の為の復習

対象学科	ウェディング科				
対象学年	2 学年	科目名	ハウスセールスII	担当名	田中 絵巳
対象学期	後 期		講義 ・ <u>演習</u> ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間
到達目標	「集客～新規接客～成約の流れを理解し、新規接客カウンセリング時の質問・会話をロールプレイングできること」 ①認知:集客～新規接客～成約までの流れと新規接客カウンセリングするべき質問・会話が思い浮かぶ ②感情:ハウスセールスって面白い、やってみよう ③行動:集客～新規接客～成約までの流れと新規接客カウンセリングの質問・会話を実践できる ④対人関係:アンケートを元に質問できる(ロープレにて確認)				
学習内容	ウェディング企業にて約7年勤務のち、ウェディング関連の専門学校にて4年登壇していた教員がゲストハウスでの新規接客での各項目で実施する質問・会話の意図を教える。前期(I)は意図理解、後期(II)は実践編と分けることにより、型(セールストーク)だけを教えるのではなく、プランナーとして必要な知識と姿勢を習得する。				
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験はロールプレイングとする				
履修に当たっての留意点	持ち物:筆記用具とメモ帳 服装:私服(オフィスカジュアル)スーツの日あり				

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	オリエンテーション (前期の復習)	スライド使用	必要に応じて自宅で前回の復習
2	【カウンセリング/アンケートロープレ①】 名刺渡し、挨拶、フェア説明	スライド使用	必要に応じて自宅で前回の復習
3	【カウンセリング/アンケートロープレ②】 挙式・披露宴時間説明、日程希望ヒヤリング	スライド使用	必要に応じて自宅で前回の復習
4	【カウンセリング/アンケートロープレ③】 2対1名の接客ポイント、競合ヒヤリング	スライド使用	必要に応じて自宅で前回の復習
5	【カウンセリング】 ケーススタディ①(顧客情報自由設定)	スライド使用	必要に応じて自宅で前回の復習
6	【カウンセリング】 ケーススタディ②(顧客情報自由設定)	スライド使用	必要に応じて自宅で前回の復習
7	【カウンセリング】 ケーススタディ③(顧客情報設定有)	スライド使用	必要に応じて自宅で前回の復習
8	【カウンセリング】 ケーススタディ④(顧客情報設定有)	スライド使用	必要に応じて自宅で前回の復習
9	【カウンセリング】 ケーススタディ⑤(顧客情報をペアで設定する)	スライド使用	必要に応じて自宅で前回の復習
10	【カウンセリング】 ケーススタディ⑥(顧客情報をペアで設定する)	スライド使用	必要に応じて自宅で前回の復習
11	【見積もり】 ケーススタディ(結婚式費用の平均、割引、特典)	スライド使用	必要に応じて自宅で前回の復習
12	【会場見学～日程提示、見積もり①】 ケーススタディ	スライド使用	必要に応じて自宅で前回の復習
13	【会場見学～日程提示、見積もり②】 ケーススタディ	スライド使用	必要に応じて自宅で前回の復習
14	【総復習・定期試験前練習(試験点数基準説明)】 名刺渡し(10点)・挨拶(10点)・お二人の名前(10点)・来館きっかけ(質問(10点)+★きっかけからの会話(10点))各実施できて60点	スライド使用	必要に応じて自宅で前回の復習
15	定期試験(ロールプレイング) (名刺・挨拶・お二人の名前・来館きっかけまで)	各授業の振り返り資料持参 (オフィスカジュアル)	定期試験の為の復習

対象学科	ウェディング科		
対象学年	2 学年	アニバーサリープランニング	中村 恵理
対象学期	後 期	講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	2単位 30 時間

到達目標	日常のイベントをより効果的に演出するための手法を、実例を元に実践的に学び、ブライダルフェアやプロポーズプランなどの企画立案を準備する
学習内容	ゲストハウス・ホテル・レストランなど様々な会場を経験したのち、フリープランナーとして現在も活躍している教員が、日常のイベントシーンをはじめとし、ブライダルフェアの企画ができるように実施する
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	1つ1つの事例を自分の大切な相手に行う気持ちで取り組む事

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	日常におけるアニバーサリーシーンとは	筆記用具	
2	①誕生日についてのプランニング(準備)	筆記用具、パソコン	
3	①誕生日についてのプランニング(発表)	筆記用具	
4	イベントプランニングに必要な要素(対象者の把握、ヒアリング)	筆記用具	
5	イベントプランニングに必要な要素(対象者の特徴、ペルソナ設定)	筆記用具	
6	イベントプランニングに必要な要素(タイムスケジュール作成、予算設定)	筆記用具	
7	イベントプランニングに必要な要素(当日運営、アクシデント対応)	筆記用具	
8	季節ごとに行われるイベントシーン(イベントプランニング実践)	筆記用具	
9	婚礼業界におけるアニバーサリーシーンとは 新規顧客向けのブライダルフェア	筆記用具	
10	成約顧客向けのブライダルフェア	筆記用具	
11	式済み顧客向けのイベント	筆記用具	
12	②式済み顧客に向けたイベントのプランニング(準備)	筆記用具、パソコン	
13	②式済み顧客に向けたイベントの発表	筆記用具、パソコン	
14	まとめ 定期試験に向けての準備	筆記用具	
15	定期試験(プロポーズプランを企画立案する)		

対象学科	ウェディング科				
対象学年	2 学年	科目名	ホテルマーケティング I		担当名 丸毛 浩一
対象学期(Q)	前 期		講義	演習・実技・実習	単位/時間数 2単位 30 時間

到達目標	ホテルのセールス＆マーケティングに関する基本知識を学びホテル集客の基礎を体系的に述べ考える事が出来る。																					
学習内容	ホテル業界で各部門担当支配人及び総支配人の実務経験を有しホテル学校での教育経験を持つ教員がホテルセールス＆マーケティングの基礎と理論を述べ考える事の出来る授業を実施する。																					
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点　合計点数100点にて成績を算出する <table><tr><td>評価</td><td>GPA</td><td>合計点数</td></tr><tr><td>A</td><td>－ 4.0</td><td>90点～100点</td></tr><tr><td>B</td><td>－ 3.0</td><td>80点～89点</td></tr><tr><td>C</td><td>－ 2.0</td><td>70点～79点</td></tr><tr><td>D</td><td>－ 1.0</td><td>60点～69点</td></tr><tr><td>E</td><td>－</td><td>出席不良</td></tr><tr><td>F</td><td>－ 0.0</td><td>59点以下(不合格)</td></tr></table> ※定期試験は筆記試験＋ワークセッション評価とする	評価	GPA	合計点数	A	－ 4.0	90点～100点	B	－ 3.0	80点～89点	C	－ 2.0	70点～79点	D	－ 1.0	60点～69点	E	－	出席不良	F	－ 0.0	59点以下(不合格)
評価	GPA	合計点数																				
A	－ 4.0	90点～100点																				
B	－ 3.0	80点～89点																				
C	－ 2.0	70点～79点																				
D	－ 1.0	60点～69点																				
E	－	出席不良																				
F	－ 0.0	59点以下(不合格)																				
履修に当たっての留意点	毎週の授業及び事前学習課題に備え指定されたテキストを必ず持参。PC及び筆記用具を忘れず持参すること。																					

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	本教科の授業概要を理解する セールス&マーケティング部門について	ホテルマーケティングブック PPTテキスト	当該授業の反復学習
2	セールス&マーケティング部門の理解 マーケティング概念の理解 I	ホテルマーケティングブック PPTテキスト	当該授業の反復学習
3	マーケティング概念の理解 II	ホテルマーケティングブック PPTテキスト	当該授業の反復学習
4	STPC(セグメンテーション/ターゲティング /ポジショニング/コンセプティング)の理解と実践 I	ホテルマーケティングブック PPTテキスト	当該授業の反復学習
5	STPC(セグメンテーション/ターゲティング /ポジショニング/コンセプティング)の理解と実践 II	ホテルマーケティングブック PPTテキスト	当該授業の反復学習
6	マーケティングミックス(4P)の理解 I	ホテルマーケティングブック PPTテキスト	当該授業の反復学習
7	マーケティングミックス(4P)の理解 II	ホテルマーケティングブック PPTテキスト	当該授業の反復学習
8	データ分析の理解と実践(SWOT分析) I	ホテルマーケティングブック PPTテキスト	当該授業の反復学習
9	データ分析の理解と実践(SWOT分析)と 前期まとめ(ワークセッションへ向けて)	ホテルマーケティングブック PPTテキスト	当該授業の反復学習
10	ホテルマーケティング実践(自ら考え造りあげる) I ＜定期試験演習編＞	ホテルマーケティングブック PPTテキスト	当該授業の反復学習
11	ホテルマーケティング実践(自ら考え造りあげる) II ＜定期試験演習編＞	ホテルマーケティングブック PPTテキスト	当該授業の反復学習
12	ホテルマーケティング実践(自ら考え造りあげる) III ＜定期試験演習編＞	ホテルマーケティングブック PPTテキスト	当該授業の反復学習
13	ホテルマーケティング実践(自ら考え造りあげる) IV ＜定期試験演習編＞	ホテルマーケティングブック PPTテキスト	当該授業の反復学習
14	ホテルマーケティング I 学習まとめ (定期試験に向けて)	ホテルマーケティングブック PPTテキスト	当該授業の反復学習
15	定期試験(筆記)		

対象学科	ウェディング科				
対象学年	2 学年	科目名	ホテルマーケティングⅡ		担当名 丸毛 浩一
対象学期(Q)	後 期		講義	演習・実技・実習	単位/時間数 2単位 30 時間

到達目標	ホテルのセールス＆マーケティングに関する基本知識を学びホテル集客の基礎を体系的に述べ考える事が出来る。																					
学習内容	ホテル業界で各部門担当支配人及び総支配人の実務経験を有しホテル学校での教育経験を持つ教員がホテルセールス＆マーケティングの基礎と理論を述べ考える事の出来る授業を実施する。																					
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する <table><tr><td>評価</td><td>GPA</td><td>合計点数</td></tr><tr><td>A</td><td>－ 4.0</td><td>90点～100点</td></tr><tr><td>B</td><td>－ 3.0</td><td>80点～89点</td></tr><tr><td>C</td><td>－ 2.0</td><td>70点～79点</td></tr><tr><td>D</td><td>－ 1.0</td><td>60点～69点</td></tr><tr><td>E</td><td>－</td><td>出席不良</td></tr><tr><td>F</td><td>－ 0.0</td><td>59点以下(不合格)</td></tr></table> ※定期試験は筆記試験＋ワークセッション評価とする	評価	GPA	合計点数	A	－ 4.0	90点～100点	B	－ 3.0	80点～89点	C	－ 2.0	70点～79点	D	－ 1.0	60点～69点	E	－	出席不良	F	－ 0.0	59点以下(不合格)
評価	GPA	合計点数																				
A	－ 4.0	90点～100点																				
B	－ 3.0	80点～89点																				
C	－ 2.0	70点～79点																				
D	－ 1.0	60点～69点																				
E	－	出席不良																				
F	－ 0.0	59点以下(不合格)																				
履修に当たっての留意点	毎週の授業及び事前学習課題に備え指定されたテキストを必ず持参。PC及び筆記用具を忘れず持参すること。																					

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	ブランドタッチポイントとCRMの理解Ⅰ	ホテルマーケティングブック PPTテキスト	当該授業の反復学習
2	ブランドタッチポイントとCRMの理解Ⅱ	ホテルマーケティングブック PPTテキスト	当該授業の反復学習
3	ファンマーケティングの理解&ブランドタッチポイントの実践	ホテルマーケティングブック PPTテキスト	当該授業の反復学習
4	インターナルマーケティング&サービスロフィットチェーンの理解	ホテルマーケティングブック PPTテキスト	当該授業の反復学習
5	ホテル運営の基本ⅠⅡ(先ずお越し頂く)について学び考えて理解する	ホテル運営の基本(レジュメ) 「アイデアカード」	当該授業の反復学習
6	ホテル運営の基本ⅢⅣ(又、いつもお越し頂く)について学び考えて理解する	ホテル運営の基本(レジュメ) 「アイデアカード」	当該授業の反復学習
7	ホテル運営の基本Ⅴ(顧客満足向上CS・CX)について学び考えて理解する	ホテル運営の基本(レジュメ) 「アイデアカード」	当該授業の反復学習
8	ホテル運営の基本Ⅵ(従業員満足向上ES・EX)について学び考えて理解する	ホテル運営の基本(レジュメ) 「アイデアカード」	当該授業の反復学習
9	ホテル運営の基本Ⅶ(ブランド確立)とホテル運営の基本 まとめ (ワークセッションへ向けて)	ホテル運営の基本(レジュメ) 「アイデアカード」	当該授業の反復学習
10	ホテルマーケティング実践(自ら考え造りあげる)Ⅰ<定期試験演習編>	ホテルマーケティングブック PPTテキスト ホテル運営の基本	当該授業の反復学習
11	ホテルマーケティング実践(自ら考え造りあげる)Ⅱ<定期試験演習編>	ホテルマーケティングブック PPTテキスト ホテル運営の基本	当該授業の反復学習
12	ホテルマーケティング実践(自ら考え造りあげる)Ⅲ<定期試験演習編>	ホテルマーケティングブック PPTテキスト ホテル運営の基本	当該授業の反復学習
13	ホテルマーケティング実践(自ら考え造りあげる)Ⅳ<定期試験演習編>	ホテルマーケティングブック PPTテキスト ホテル運営の基本	当該授業の反復学習
14	ホテルマーケティングⅡ 学習まとめ(定期試験に向けて)	ホテルマーケティングブック PPTテキスト ホテル運営の基本	当該授業の反復学習
15	定期試験(筆記+ワークセッション)		

対象学科	ウェディング科		
対象学年	2 学年	科目名	レストランサービス技能検定Ⅰ
対象学期	前 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習
		担当名	田島 史雄
		単位/時間数	4単位 60 時間

到達目標	教科書に沿い、レストランサービスの知識を深く学ぶ 国家検定レストランサービス技能士3級に合格する
学習内容	技能グランプリレストランサービス職種に出場経験のある講師がレストランサービスの知識を解説。演習ではプロとして必要な技術や心構えを、座学では技能検定対策と共にレストラン営業でも即、役に立つ知識を学ぶ。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	スーツ着用、身だしなみを整えて出席 教科書、筆記用具、ノート持参

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	レストランサービスについて(実技)		
3,4	レストランサービスについて(実技)		
5,6	レストランサービスについて(実技)		
7,8	レストランサービスについて(実技)		
9,10	レストランサービスについて(実技)		
11,12	レストランサービスについて(実技)		
13,14	レストランサービスについて(実技)		
15,16	レストランサービスについて(実技)		
17,18	レストランサービスについて(実技)		
19,20	レストランサービスについて(実技)		
21,22	レストランサービスについて(実技)		
23,24	レストランサービスについて(実技)		
25,26	レストランサービスについて(実技)		
27,28	レストランサービスについて(実技)		
29,30	定期試験		

対象学科	ウェディング科		
対象学年	2 学年	科目名	ブライダルヘアメイクⅠ
対象学期	前 期	講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	担当名 長尾 建
			単位/時間数 4単位 60 時間

到達目標	洋装・和装のブライダルヘアメイクの基礎知識を習得し、実践できるようになる。検定を取得することで婚礼美容に関してのマナーや歴史を理解したプロフェッショナルな人材を育成する																					
学習内容	美容師免許を取得後、ブライダルヘアメイクアーティストとして婚礼現場に携わり、JWSAの認定講師を取得。ウェディングビューティースタylistとして、現場での実体験を交えながら技術を習得する授業を行う																					
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する <table><tr><td>評価</td><td>GPA</td><td>合計点数</td></tr><tr><td>A</td><td>－ 4.0</td><td>90点～100点</td></tr><tr><td>B</td><td>－ 3.0</td><td>80点～89点</td></tr><tr><td>C</td><td>－ 2.0</td><td>70点～79点</td></tr><tr><td>D</td><td>－ 1.0</td><td>60点～69点</td></tr><tr><td>E</td><td>－</td><td>出席不良</td></tr><tr><td>F</td><td>－ 0.0</td><td>59点以下(不合格)</td></tr></table> ※定期試験は筆記試験とする	評価	GPA	合計点数	A	－ 4.0	90点～100点	B	－ 3.0	80点～89点	C	－ 2.0	70点～79点	D	－ 1.0	60点～69点	E	－	出席不良	F	－ 0.0	59点以下(不合格)
評価	GPA	合計点数																				
A	－ 4.0	90点～100点																				
B	－ 3.0	80点～89点																				
C	－ 2.0	70点～79点																				
D	－ 1.0	60点～69点																				
E	－	出席不良																				
F	－ 0.0	59点以下(不合格)																				
履修に当たっての留意点	メイクは相モデルで行う。ヘアはウィッグを使用する。																					

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	オリエンテーション・スキンケアの手順を理解し、実践する (JWSA② 2章)	教材メイク道具一式・JWSAテキスト② 普段使っている自分のメイク道具	
3,4	スキンケア及びベースメイクの手順を理解し、実践する (JWSA② 2章)	教材メイク道具一式・JWSAテキスト② 普段使っている自分のメイク道具	
5,6	スキンケア及びベースメイクの手順を理解し、実践する (JWSA② 2章)	教材メイク道具一式・JWSAテキスト② 普段使っている自分のメイク道具	
7,8	ポイントメイクの構成と特徴を理解する (JWSA② 4章)	教材メイク道具一式・JWSAテキスト② 普段使っている自分のメイク道具	
9,10	ポイントメイクの構成と特徴を理解する (JWSA② 4章)	教材メイク道具一式・JWSAテキスト② 普段使っている自分のメイク道具	
11,12	ポイントメイクの構成と特徴を理解する (JWSA② 4章)	教材メイク道具一式・JWSAテキスト② 普段使っている自分のメイク道具	
13,14	フルメイクを実践し全体のバランスを理解する (JWSA② 4章)	教材メイク道具一式・JWSAテキスト② 普段使っている自分のメイク道具	
15,16	フルメイクを実践し全体のバランスを理解する (JWSA② 4章)	教材メイク道具一式・JWSAテキスト② 普段使っている自分のメイク道具	
17,18	アイロンやホットカーラーの使い方、ピン、一束などの使い方を理解し実践する (JWSA② 4章)	教材ヘア道具一式・JWSAテキスト②	
19,20	アイロンやホットカーラーの使い方、ピン、一束などの使い方を理解し実践する (JWSA② 4章)	教材ヘア道具一式・JWSAテキスト②	
21,22	挙式用のアップスタイルの練習をする (JWSA② 4章)	教材ヘア道具一式・JWSAテキスト②	
23,24	挙式用・披露宴用スタイルの違いを理解しアップスタイルからダウンスタイルを実践する (JWSA② 4章)	教材ヘア道具一式・JWSAテキスト②	
25,26	JWSA試験対策(JWSA② 全章)	JWSAテキスト②、筆記用具	
27,28	JWSA試験対策(JWSA② 全章)	JWSAテキスト②、筆記用具	
29,30	JWSA試験(定期試験)	JWSAテキスト②、筆記用具	

対象学科	ウェディング科		
対象学年	2 学年	レストランサービス技能検定Ⅱ	田島 史雄
	後 期	講義 (演習)・実技・実習	4単位 60 時間

到達目標	教科書に沿い、レストランサービスの知識を深く学ぶ 国家検定レストランサービス技能士3級に合格する
学習内容	技能グランプリレストランサービス職種に出場経験のある講師がレストランサービスの知識を解説。演習ではプロとして必要な技術や心構えを、座学では技能検定対策と共にレストラン営業でも即、役に立つ知識を学ぶ。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	スーツ着用、身だしなみを整えて出席 教科書、筆記用具、ノート持参

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	第1節食材・飲料等の基礎知識 第1節食品	西洋料理 料飲接客サービス技法	復習問題
3,4	第2節 西洋料理に使用される主な食材 前菜～野菜	西洋料理 料飲接客サービス技法	復習問題
5,6	第2節 西洋料理に使用される主な食材 チーズ、デザート	西洋料理 料飲接客サービス技法	復習問題
7,8	第3節 一般的な西洋料理調理法 第4節 飲料の種類および特徴 ①	西洋料理 料飲接客サービス技法	復習問題
9,10	第4節 飲料の種類および特徴 ②	西洋料理 料飲接客サービス技法	復習問題
11,12	第5節 メニュー①	西洋料理 料飲接客サービス技法	復習問題
13,14	第5節 メニュー②	西洋料理 料飲接客サービス技法	復習問題
15,16	第6節 西洋料理の食事用具・備品	西洋料理 料飲接客サービス技法	復習問題
17,18	第2章 接客の基本	西洋料理 料飲接客サービス技法	復習問題
19,20	第3章 宴会とレストランサービス①	西洋料理 料飲接客サービス技法	復習問題
21,22	第3章 宴会とレストランサービス②	西洋料理 料飲接客サービス技法	復習問題
23,24	第3章 宴会とレストランサービス③	西洋料理 料飲接客サービス技法	復習問題
25,26	第3章 宴会とレストランサービス④	西洋料理 料飲接客サービス技法	復習問題
27,28	第3章 宴会とレストランサービス⑤	西洋料理 料飲接客サービス技法	復習問題
29,30	教科書復習 定期試験	西洋料理 料飲接客サービス技法	復習問題

対象学科	ウェディング科				
対象学年	2 学年	科目名	ブライダルヘアメイクⅡ	担当名	木本ルミ子
対象学期	後 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	4単位 60 時間

到達目標	様々なブライダル会場、シチュエーション・ドレスに合わせてヘアメイクスタイリングの提案・基本的な施術が出来るようにする。またヘアメイクとヘッドドレス、ドレス、小物のコーディネート力が身に付いたプロフェッショナルな人材を育成する。
学習内容	ヘアメイク事務所にて5年広告、雑誌、ショーなど経験、その後海外でブルガリホテルやアマン系ホテル等でブライダルヘアメイク、コーディネーターとして経験を積み帰国、現在フリーランスで活動中の講師が現場での経験を活かし実例やトレンドを交え説明・実演しヘアメイク・ドレス等のトータルコーディネート力を身に付けるための講義を実施する。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は実技試験と事前提出コラージュとする
履修に当たっての留意点	ヘアメイク道具一式持参

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	ブライダルヘアメイクの特徴①/ヘア基礎技術確認 (定番スタイル:一束・コテ巻き・編み込み・ビニング)	ヘア道具一式	
3,4	ブライダルヘアメイクの特徴②/メイク基礎技術確認 (スタンダードメイク:ベース・眉・シャドー・リップ・チーク)	メイク道具一式 (基礎化粧品、メイク落とし持参)	
5,6	イメージ別メイク&ドレス【ナチュラル】	メイク道具一式 (基礎化粧品、メイク落とし持参)	
7,8	イメージ別ヘア&ドレス【ナチュラル】ハーフアップ&編み下し	ヘア道具一式	前回のイメージドレス(小物・会場)を検索してくる
9,10	イメージ別メイク&ドレス【キュート】	メイク道具一式 (基礎化粧品、メイク落とし持参)	
11,12	イメージ別ヘア&ドレス【キュート】ツイン系アップ	ヘア道具一式	前回のイメージドレス(小物・会場)を検索してくる
13,14	イメージ別メイク&ドレス【エレガント】	メイク道具一式 (基礎化粧品、メイク落とし持参)	
15,16	イメージ別ヘア&ドレス【エレガント】ゆるふわアップヘア	ヘア道具一式	前回のイメージドレス(小物・会場)を検索してくる
17,18	イメージ別メイク&ドレス【クール】	メイク道具一式 (基礎化粧品、メイク落とし持参)	
19,20	イメージ別ヘア&ドレス【クール】タイトポニー	ヘア道具一式	前回のイメージドレス(小物・会場)を検索してくる
21,22	似合わせ&成人式(現代和装)メイク	メイク道具一式	
23,24	人気スタイルヘアアレンジ相モデル練習	ヘア道具一式	
25,26	定期テスト課題練習 メイク	メイク道具一式	
27,28	定期テスト課題練習 ヘア	ヘア道具一式	イメージ別ドレス・HM・小物・会場コラージュを作成提出
29,30	定期テスト ヘア & メイク	ヘア・メイク道具一式	

対象学科	ウェディング科		
対象学年	2 学年	ドレススタイリストⅢ	坂田 依智子
対象学期(Q)	後 期	講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	2単位 30 時間

到達目標	スムーズに婚礼衣装選びのご案内ができ、イメージや体型、会場等の条件に合わせたトータルコーディネートができる
学習内容	ウェディング総合プロデュース会社「TAKAMI BRIDAL」にて、ドレススタイリストとして約15年間、ドレスショップや式場、ホテルの現場で婚礼衣装業務に携わってきた教員が、現場での経験をもとにトータルコーディネート並びに接客の指導をする
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A — 4. 0 90点～100点 B — 3. 0 80点～89点 C — 2. 0 70点～79点 D — 1. 0 60点～69点 E — 出席不良 F — 0. 0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	テキスト、筆記用具を持参すること

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1.2	衣装選びのポイント トータルコーディネートについて～会場	[テキスト]JWSA ウェディングファッション	授業内容に応じて自宅学習
3.4	トータルコーディネートについて～体型 カラードレス、メンズフォーマルウェアの選び方	[テキスト]JWSA ウェディングファッション	授業内容に応じて自宅学習
5.6	体型と会場に配慮したWDとCDをトータルコーディネート コラージュにまとめ、コメント作成(ドレス別に必要に応じた小物をコーディネート)	[テキスト]JWSA ウェディングファッション	ネット等でウェディングファッションシーンのチェック
7.8	体型と会場に配慮したトータルコーディネートの発表 他のチームの感想及びフィードバック 体型カバー、会場別ポイントまとめ	[テキスト]JWSA ウェディングファッション	ネット等でウェディングファッションシーンのチェック
9.10	設定したファッションシーンのトータルコーディネート(WD、CD、メンズ)コラージュにまとめ、コメント作成(衣装別に必要に応じた小物をコーディネート)	[テキスト]JWSA ウェディングファッション	ネット等でウェディングファッションシーンのチェック
11.12	設定したファッションシーンのトータルコーディネート(WD、CD、メンズ)の発表 他のチームの感想及びフィードバック	[テキスト]JWSA ウェディングファッション	ネット等でウェディングファッションシーンのチェック
13.14	定期試験に向けて総復習・準備	[テキスト]JWSA ウェディングファッション	ネット等でウェディングファッションシーンのチェック
15	定期試験		

対象学科	ウェディング科				
対象学年	2 学年	科目名	着付 初伝・中伝	担当名	岡野暢子
対象学期	前 期		講義 ・ <u>演習</u> ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	4単位 60 時間

到達目標	山野流着装〈初伝〉〈中伝〉の資格取得を目標とし、現場で実践できる基礎技術を身に着ける。初伝では着物の基礎知識を学び、小紋の着付と名古屋帯の一重太鼓を結ぶことが出来る。中伝では振袖と留袖の着付を学び、お客様に着付することが出来る。
学習内容	長年和装の着付技術の指導にあたり、自らも和装ブライダル現場を経験してきた山野流着装 奥伝師範講師より冠婚葬祭での着物の基礎知識、衣装の扱い方をわかりやすく解説し、伝統を継承しながらも現代のニーズに応えられる和装着付の技術をお伝えします。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は実技試験とする
履修に当たっての留意点	資格取得の科目につき全日出席してください。 キャミソール（タンクトップは不可）・レギンス（薄手のもの）を着用します。 髪は襟足にかからないよう上にまとめあげて参加してください。

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	浴衣の歴史・知識 着物の名称 下着・紐類・小物の用い方 下着の着付	着物着つけ教本・筆記用具 着付小物一式・タオル（白）1枚	
3,4	浴衣の着付と細帯の結び方	着物着つけ教本・筆記用具 着付小物一式・タオル（白）1枚	
5,6	小紋と名古屋帯の知識 着付前の準備の仕方 展示同時実習 長襦袢の着付（伊達締めまで）	着物着つけ教本・筆記用具 着付小物一式・タオル（白）1枚	
7,8	名古屋帯のたたみ方から準備の仕方 展示同時実習 小紋の着付（伊達締めまで）	着物着つけ教本・筆記用具 着付小物一式・タオル（白）1枚	
9,10	準備の仕方から小紋の着付まで 展示同時実習 名古屋帯の一重太鼓の帯結び	着物着つけ教本・筆記用具 着付小物一式・タオル（白）1枚	
11,12	準備の仕方から小紋の着付まで 展示同時実習 名古屋帯の一重太鼓の帯結び	着物着つけ教本・筆記用具 着付小物一式・タオル（白）1枚	
13,14	定期試験〈初伝〉取得：実技試験	着物着つけ教本・筆記用具 着付小物一式・タオル（白）1枚	
15,16	ミスの第一礼装 振袖についての知識を学ぶ 体型補正から長襦袢までの着付を学ぶ（2人1組）	着物着つけ教本・筆記用具 着付小物一式・タオル（白）2枚	
17,18	着付け前の準備の仕方 振袖の着付から伊達締めまでを学ぶ	着物着つけ教本・筆記用具 着付小物一式・タオル（白）2枚	
19,20	振袖の着付：準備より着物の着付けまでを実習する 帯結び 二枚扇 帯揚げ・帯締めまで仕上げる	着物着つけ教本・筆記用具 着付小物一式・タオル（白）2枚	
21,22	振袖の着付：準備より帯結びまでを時間内に完成させる	着物着つけ教本・筆記用具 着付小物一式・タオル（白）2枚	
23,24	ミセスの第一礼装：留袖についての知識を学ぶ 体型補正から留袖（伊達締め）までの着付を学ぶ	着物着つけ教本・筆記用具 着付小物一式・タオル（白）2枚	
25,26	留袖の着付け：準備より着物の着付けまでを実習する 帯結び 二重太鼓 帯揚げ・帯締めまで仕上げる	着物着つけ教本・筆記用具 着付小物一式・タオル（白）2枚	
27,28	着付け総仕上げ 着付けの準備からお客様の着付け→衣裳のしまい方まで（2人1組）	着物着つけ教本・筆記用具 着付小物一式・タオル（白）2枚	
29,30	定期試験〈中伝〉取得：実技試験	着物着つけ教本・筆記用具 着付小物一式・タオル（白）2枚	

対象学科	ウェディング科				
対象学年	2 学年	科目名	花嫁着付(紋服・白無垢)	担当名	岡野暢子
対象学期	後 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	和装婚礼式服の基本着付 1.婚礼衣装、小物類のあつかい方を覚える 2.花婿式服の着付を覚える 2.花嫁式服の着付を覚える
学習内容	長年和装の着付技術の指導にあたり、自らも和装ブライダル現場を経験してきた山野流着装 奥伝師範講師より和装婚礼式服の基礎知識、衣装の扱い方をわかりやすく解説し、伝統を継承しながらも現代のニーズに応えられる婚礼着付の技術をお伝えします。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は実技試験とする
履修に当たっての留意点	キャミソール（タンクトップは不可）・レギンス（薄手のもの）を着用します。 髪は襟足にかからないよう上にまとめあげて参加してください。

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	和装花婿の紋服の基礎知識と基本着付を覚える	花婿着付テキスト・着付小物一式 タオル（白）3枚・クリップ	
3,4	和装花嫁の基本着付 展示同時実習 綿花・タオルを用いた体型補正から長襦袢の基本着付	花嫁着付テキスト・着付小物一式 タオル（白）3枚・クリップ	
5,6	和装花嫁の基本着付 展示同時実習 体型補正から長襦袢の着付、掛下の基本着付まで実施	花嫁着付テキスト・着付小物一式 タオル（白）3枚・クリップ	
7,8	和装花嫁の基本着付 展示同時実習 体型補正→長襦袢→掛下→掛下文庫結びを実施する	花嫁着付テキスト・着付小物一式 タオル（白）3枚・クリップ	
9,10	和装花嫁の基本着付 体型づくりから掛下文庫 →抱え帯・筥迫・懐剣→打掛までを仕上げる	花嫁着付テキスト・着付小物一式 タオル（白）3枚・クリップ	
11,12	和装花嫁の基本着付 体型づくりから掛下文庫 →抱え帯・筥迫・懐剣→打掛→褌どりまでを覚える	花嫁着付テキスト・着付小物一式 タオル（白）3枚・クリップ	
13,14	和装花嫁の基本着付 体型づくりから掛下文庫 →抱え帯・筥迫・懐剣→打掛→型づけまで仕上げる	花嫁着付テキスト・着付小物一式 タオル（白）3枚・クリップ	
15	定期試験 3人一組で花嫁の体型づくりから掛下 →掛下文庫結び→打掛→型づけまでを仕上げる	花嫁着付テキスト・着付小物一式 タオル（白）3枚・クリップ	

対象学科	ウェディング科				
対象学年	2 学年	科目名	ブライダルフラワーアレンジⅡ	担当名	伏見さゆり・丹羽 律
対象学期	前 期			単位/時間数	4単位 60 時間
			講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習		

到達目標	フラワーデザインの基本的な知識に加え、ブライダルにおける花との関わりを専門的に深め、ブライダルに特化したコンセプチュアルスキルを磨き、幅広いデザイン表現できるように実践的にフラワー業界で活躍できる人材を育成する。
学習内容	ヨーロッパフラワーデザイン連盟認定講師として7教室を運営する傍ら、企業レッスン・音楽イベント・ブライダル装花など様々なシーンで活動しております。フローリストとして、専門的知識と技術、高度なテクニックや創造性の向上を図り、即戦力となれるよう経験を積み講義や実技を実施する。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	授業毎で使用する持ち物は、毎回確認し忘れずに持参すること。 *忘れ物をすると、作品が制作できません。

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	植物の栄養、構造を理解する。 生花作品①「春のアレンジメント(タイトル付け・フリースタイル)」作成の実施。	教科書・トレイ・フローリストハサミ・ナイフ・普通ハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P4～P13まで自宅学習
3,4	花の個性をより引き出す価値観による分類、植物の表面構造を分類する。 生花作品②「和風ボールブーケ」作成の実施。	教科書・コンポートベース&ジョイント・フローリストハサミ・ナイフ・普通ハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック・S字フック	教科書P14～P17まで自宅学習
5,6	植物の動きの形態を説明する。フラワーアレンジにおける制作構成について理解する。 生花作品③「リース」作成の実施。	教科書・フローリストハサミ・ナイフ・普通ハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P18～P21まで自宅学習
7,8	フラワーアレンジメントにおける配置法Ⅰ(MFPIについて)理解する。 生花作品④「クラッチブーケ」&「ブートニア」作成の実施。	教科書・フローリストハサミ・ナイフ・普通ハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P22～P23まで自宅学習
9,10	フラワーアレンジメントにおける配置法Ⅱ(シンメトリーとアシンメトリーについて)理解する。 生花作品⑤「ラジェーション」作成の実施。	教科書・コンポートカップ&ジョイント&ベース・普通ハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P24～P25まで自宅学習
11,12	フラワーアレンジメントにおける配置法Ⅲ(配列)について理解する。 生花作品⑥「アーチ」作成の実施。	教科書・コンポートカップ&ベース&ジョイント・フローリストハサミ・ナイフ・普通ハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P26～P28まで自宅学習
13,14	フラワーアレンジメントにおける配置法Ⅳ(プロポーション)について理解する。 生花作品⑦「EFD1級検定学内試験アーチ」作成の実施。	教科書・コンポートカップ&ジョイント&ベース・フローリストハサミ・ナイフ・普通ハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P29自宅学習
15,16	アレンジメントにおける花材やデザインに合った適切な方法メカニクスについて理解する。 生花作品⑧「バックブーケ」作成の実施。	教科書・フローリストハサミ・ナイフ・普通ハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック・S字フック	教科書P30～P31まで自宅学習
17,18	ウェディングを演出するに欠かせない花飾りについて理解する。 生花作品⑨「シャワーブーケ」&「ブートニア」作成の実施。	教科書・コンポートベース&ジョイント・フローリストハサミ・ナイフ・普通ハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P32～P43まで自宅学習
19,20	現場制作生け込み、ハーブについて理解する。 生花作品⑩「夏のアレンジメント(タイトル付け・フリースタイル)」作成の実施。	教科書・コンポートカップ・ベース・フローリストハサミ・ナイフ・普通ハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P44～P47まで自宅学習
21,22	色による感情効果、カラーコーディネートについて理解する。 テーブルコーディネートについて理解する。 生花作品⑪「プリザーブドフラワーメリア」作成の実施。	教科書・フローリストハサミ・普通ハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック・グルーガン	教科書P48～P58まで自宅学習
23,24	フラワーアレンジメントの時代と様式を理解する。 生花作品⑫「スクエア」作成の実施。	教科書・トレイ・フローリストハサミ・ナイフ・普通ハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P59自宅学習
25,26	鑑賞授業 『植物園見学』 本物の生きた植物から、多種多様な植物の特徴、面白さ、不思議さを体験し理解する。	筆記用具・メモ用紙	植物園のリサーチ
27,28	フラワーアレンジメント全般の用語、展開図について理解する。 生花作品⑭「キャスケードブーケ」作成の実施。	教科書・コンポートベース&ジョイント・フローリストハサミ・ナイフ・普通ハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P62～P103まで自宅学習
29,30	1限目 EFD1級検定学内試験キャスケードブーケ 2限目 定期試験	教科書・コンポートベース&ジョイント・フローリストハサミ・ナイフ・普通ハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	第1回～14回講義内容・EFD検定実技試験自宅学習

対象学科	ウェディング科			
対象学年	2 学年	科目名	アートディレクション	担当名
対象学期	後 期			松浦 麻子
		講義	・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数
				4単位 60 時間

到達目標	材料への理解と婚礼装花の技術を用いて、自分のイメージ・デザイン・アウトプット・制作をする。アイデア・考えの幅を広げ、この先の自分の知恵となる美しい記録を作成、プレゼンテーションを行う。
学習内容	9年間ホテル婚礼装花の業務経験のある教員が、ウェディング・ブライダル業界フローリストとして発想の方法と多様な材料の活用を教える。伝える為の多角的なアウトプットと、具現化をする力を培う講義を実施する。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A － 4.0 90点～100点 B － 3.0 80点～89点 C － 2.0 70点～79点 D － 1.0 60点～69点 E － 出席不良 F － 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	授業によりハサミなど持参/1～14回目まで筆記用具/毎回の授業に振り返り有

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	授業オリエンテーション ロープワークで作る装飾的構造物	筆記用具・花用のハサミ	なし
3,4	厚紙・植物を使う吊り下げ装飾	筆記用具・花用のハサミ・あればカッター・グルーガン・持帰り袋	なし
5,6	物(壁または曲面)の面に添う花束	筆記用具・花用ハサミ・グルーガン・クロッキー帳・持帰り袋	なし
7,8	家具(もしくは道具・花器)と植物を使う装飾	筆記用具・花用ハサミ・グルーガン・前回授業で計画し確認を受けた道具・持帰り袋	なし
9,10	発泡スチロールを加工をしてつくる作品と植物を使う装飾	筆記用具・グルーガン・前回授業で計画し確認を受けた道具・持帰り袋	なし
11,12	モチーフを作る(スケッチ作品もしくは立体化した作品)	筆記用具・前回授業で計画し確認を受けた道具・持帰り袋	なし
13,14	ライト(あかり)もしくは古いものと植物を使う装飾 14回目授業の作品についてオリエンテーション	筆記用具・前回授業で計画し確認を受けた道具・持帰り袋	なし
15,16	長い素材の作品(アレンジメントもしくは花束)	筆記用具・前回授業で計画し確認を受けた道具・持帰り袋	なし
17,18	紙を使う作品(アレンジメントもしくは花束)・プレゼンテーション準備	筆記用具・前回授業で計画し確認を受けた道具・持帰り袋	なし
19,20	プレゼンテーション	今までのプレゼンシートファイル	なし
21,22	細い金属を使う作品(アレンジメントもしくは花束かリース)	筆記用具・前回授業で計画し確認を受けた道具・持帰り袋	なし
23,24	アクリル素材を使う作品(アレンジメントもしくは花束)	筆記用具・前回授業で計画し確認を受けた道具・持帰り袋	なし
25,26	自分のモチーフを使う作品(アレンジメントもしくは花束)	筆記用具・前回授業で計画し確認を受けた道具・持帰り袋	なし
27,28	アレンジメントまたは花束 テーマ「鳥の巣」	筆記用具・前回授業で計画し確認を受けた道具・持帰り袋	なし
29,30	定期試験:実技 金属	筆記用具	なし

対象学科	ウェディング科			
対象学年	2 学年	科目名	ディスプレイコーディネート	担当名
対象学期	後 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	松近先生 JWSA講師
		単位/時間数		4単位 60 時間

到達目標	ウェディングに関わるフローリストや空間コーディネーターとして必要なデコレーションの知識を習得。また、空間にあったデザインを企画し、装飾の仕方や施行技術を身につける。
学習内容	ウェディング装花や、ゼクシィなどに掲載の、空間コーディネートを担うウェディングスタイリストから、ウェディング装花のみならず、デコレーションを空間的に捉え、ウェディングデコレーションの基本的な知識から、デザイン構成、コンセプトメイクから施行までの知識や必要な技術、制作時の注意点などを学ぶ
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	テキスト・筆記用具・パソコン(指定日)を持参すること

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	ウェディングにおけるフローリストの仕事について	テキスト:JWSA④ WEDDING SPACE	Chapter1・2を予習
3,4	コーディネートの基礎知識 (アイテム・装花の種類など)	テキスト:JWSA④ WEDDING SPACE	Chapter3を予習
5,6	カラーコーディネート・テイストイメージについて	テキスト:JWSA④ WEDDING SPACE	Chapter3を予習
7,8	会場コーディネートについて	テキスト:JWSA④ WEDDING SPACE	Chapter4を予習
9,10	会場装花制作時の注意点	テキスト:JWSA④ WEDDING SPACE	Chapter5を予習
11,12	コーディネートのバリエーション	テキスト:JWSA④ WEDDING SPACE	Chapter6を予習
13,14	セレモニースペースについて	テキスト:JWSA④ WEDDING SPACE	Chapter6・7を予習
15,16	コンセプトメイクの方法	テキスト:JWSA④ WEDDING SPACE パソコン	Chapter8を予習
17,18	コンセプトシートの作成	テキスト:JWSA④ WEDDING SPACE パソコン	Chapter8・9を予習
19,20	会場ディスプレイ(企画)	テキスト:JWSA④ WEDDING SPACE パソコン	ピンタレストを使用して、 ウェディング会場のデザイン を見てくる
21,22	東京堂見学	筆記用具	
23,24	会場ディスプレイ(企画)	テキスト:JWSA④ WEDDING SPACE パソコン	ピンタレストを使用して、 ウェディング会場のデザイン を見てくる
25,26	会場ディスプレイ(施行)	ハサミセット・ワイヤー フローラルテープ	
27,28	会場ディスプレイフィードバック 定期試験(JWSA認定試験)	筆記用具	認定試験対策問題を予習
29,30	ウェディングコンペ用 披露宴会場の空間デザイン	テキスト:JWSA④ WEDDING SPACE パソコン	

対象学科	ウェディング科				
対象学年	2 学年	科目名	ブライダル撮影 I	担当名	近藤・高杉
対象学期	前 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	4単位 60 時間

到達目標	フォトグラファーに必要な知識・実践を徹底的に身につける。 ブライダルだけではなく、フォトグラファーとしての目標・目的を広げてあげる。
学習内容	フォトグラファーに必要な知識・技術について講義・演習を行います。 また、ブライダルに特化し、卒業後、スムーズに仕事に就けられるレベルを目指します。 [講師紹介] 近藤:本校で講師5年目。現在もカメラマンとして年間撮影数100組以上の現役カメラマンです。 高杉:カメラマンとして20年の経験を持ち、現在はフーランスとして活動。クライアント、同業会社にてサンプル撮影、カメラマン指導・講師も行ってます。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点~100点 B - 3.0 80点~89点 C - 2.0 70点~79点 D - 1.0 60点~69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	オリエンテーション 今後の流れの説明・カメラマンの仕事について	パソコン・筆記用具	近藤・高杉
3,4	撮影データの編集 (Lightroom・Photoshop)	パソコン・筆記用具	近藤
5,6	基礎Ⅰ カメラの基本操作を学んでいただきます (ピント・絞り・シャッタースピード・感度など)	カメラ・ストロボ・パソコン	高杉
7,8	撮影実習Ⅰ 実際に撮影していただき、基礎を身につけていただきます。(課題あり)	パソコン・筆記用具	高杉
9,10	撮影実習Ⅰ 実際に撮影していただき、基礎を身につけていただきます。(課題あり)	カメラ・ストロボ・パソコン	高杉
11,12	撮影実習Ⅱ 実際に撮影していただき、基礎を身につけていただきます。(ストロボ使用)	カメラ・ストロボ・パソコン	近藤
13,14	撮影データの編集・加工 (Bridge/Lightroom/Photoshop)	パソコン・筆記用具	近藤
15,16	撮影データの加工 (Lightroom・Photoshop・Illustrator)	パソコン・筆記用具	近藤
17,18	アルバム作成 アルバムを作成する為の知識とソフトの説明	パソコン・筆記用具	近藤
19,20	物撮り 物の撮影の内容全般 (仕事で使える基礎・応用)	カメラ・ストロボ・パソコン	近藤
21,22	基礎Ⅱ カメラの基本操作を学んでいただきます (構図・ホワイトバランス・補助光など)	カメラ・ストロボ・パソコン	高杉
23,24	撮影実習Ⅲ 光を学ぶ (WB・自然光・補助光・ライティング)	カメラ・ストロボ・パソコン	高杉
25,26	撮影実習Ⅳ 構図を学ぶ (画角・アングル・レンズについて)	カメラ・ストロボ・パソコン	高杉
27,28	おさらい 質疑応答(個別で足りないところを補う)	カメラ・ストロボ・パソコン・筆記用具	高杉
29,30	定期試験	カメラ・ストロボ・パソコン・筆記用具	近藤

対象学科	ウェディング科				
対象学年	2 学年	科目名	ブライダル撮影Ⅱ	担当名	近藤・高杉
対象学期	後 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	4単位 60 時間

到達目標	ウェディングフォトグラファーの全般の知識・技術を身に付け、撮影から編集までできるようになる
学習内容	フォトグラファーに必要な知識・技術について講義・演習を行います。 また、ブライダルに特化し、卒業後、スムーズに仕事に就けられるレベルを目指します。 【講師紹介】 近藤:本校で講師5年目。現在もカメラマンとして年間撮影数100組以上の現役カメラマンです。 高杉:カメラマンとして20年の経験を持ち、現在はフーランスとして活動。クライアント、同業会社にてサンプル撮影、カメラマン指導・講師も行ってます。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	ブライダル基礎知識Ⅰ ブライダルの基本的なマナー・知識を学んでいただきます	パソコン・筆記用具	高杉
3,4	ブライダル基礎知識Ⅱ 結婚式の撮り方をシーンごとに解説していきます	パソコン・筆記用具	高杉
5,6	ブライダル基礎知識Ⅲ 挙式の撮り方をシーンごとに解説していきます	パソコン・筆記用具	高杉
7,8	撮影実習Ⅰ 実際に撮影していただき、基礎を身につけていただきます。(挙式編)	パソコン・筆記用具	高杉
9,10	ブライダル基礎知識Ⅳ 披露宴の撮り方をシーンごとに解説していきます	カメラ・ストロボ	高杉
11,12	撮影実習Ⅱ 実際に撮影していただき、基礎を身につけていただきます。(披露宴編)	カメラ・ストロボ	高杉
13,14	撮影データの編集 (実際に5・6回目データを補正していただきます)	パソコン・筆記用具	近藤
15,16	撮影実習Ⅲ 型もの撮影・ライティング(スタジオ) 基本的な知識とストロボの組み方・使い方を学ぶ	カメラ・ストロボ	近藤
17,18	撮影実習Ⅳ 前撮り撮影とメイク撮影 ポーズ・構図・背景との組み合わせ	カメラ・ストロボ	高杉
19,20	撮影実習Ⅴ 模擬撮影 実践最後の撮影になります	カメラ・ストロボ	近藤・高杉
21,22	撮影データの編集 (前回撮影分の補正していただきます)	パソコン・筆記用具	近藤
23,24	アルバム制作	パソコン・筆記用具	近藤
25,26	アルバム制作	パソコン・筆記用具	近藤
27,28	おさらい(総括) 質疑応答・個別に足りないところを補う	カメラ・ストロボ・パソコン・筆記用具	近藤
29,30	定期試験	カメラ・ストロボ・パソコン・筆記用具	近藤

対象学科	ウェディング科							
対象学年	2 学年	科目名	フォトムービー編集Ⅰ		担当名	森岡 愛		
対象学期	前 期		講義	・ 演習 ・	実技 ・ 実習	単位/時間数	4単位	60 時間

到達目標	映像の基礎知識、撮影・編集技術を学び 婚礼を中心とした現場で即戦力として活躍出来る人材の育成げてあげる。
学習内容	ウェディングの映像を基本とし、その他企業案件にも対応出来る知識・技術の習得
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	ノート・筆記用具・スマートフォン・カメラ(バッテリー) 編集用PC・イヤホンを持参すること

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	映像の歴史・現代における映像の役割について	筆記用具	
3,4	映像の基礎知識復習	筆記用具、カメラ	
5,6	動画撮影の基礎	筆記用具、カメラ	
7,8	PremiereProを使用しての動画編集基礎①	筆記用具、パソコンmac	
9,10	PremiereProを使用しての動画編集基礎②	筆記用具、パソコンmac	
11,12	ブライダルの映像について学ぶ①	筆記用具、パソコンmac	
13,14	ブライダルの映像について学ぶ②	筆記用具、パソコンmac	
15,16	PremiereProを使用しての実際の結婚式の動画編集	筆記用具、パソコンmac	
17,18	PremiereProを使用しての実際の結婚式の動画編集	筆記用具、パソコンmac	
19,20	ブライダル本番を想定した撮影技術(メイクシーン)	筆記用具、カメラ	
21,22	PremiereProを使用しての動画編集応用	筆記用具、パソコンmac	
23,24	Photoshopを使った画像編集を学ぶ①	筆記用具、パソコンmac	
25,26	Photoshopを使った画像編集を学ぶ②	筆記用具、パソコンmac	
27,28	定期試験対策		
29,30	定期試験		

対象学科	ウェディング科							
対象学年	2 学年	科目名	フォトムービー編集Ⅰ		担当名	森岡 愛		
対象学期	後 期		講義	・ 演習 ・	実技 ・ 実習	単位/時間数	4単位	60 時間

到達目標	映像の基礎知識、撮影・編集技術を学び 婚礼を中心とした現場で即戦力として活躍出来る人材の育成げてあげる。
学習内容	ウェディングの映像を基本とし、その他企業案件にも対応出来る知識・技術の習得
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	ノート・筆記用具・スマートフォン・カメラ(バッテリー) 編集用PC・イヤホンを持参すること

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	ブライダル本番を想定した撮影技術(人前式)	筆記用具、カメラ	
3,4	ブライダル本番を想定した撮影技術(披露宴)	筆記用具、カメラ	
5,6	演出できる引き出しを身につける	筆記用具、カメラ	
7,8	撮影技術応用	筆記用具、カメラ、パソコンmac	
9,10	撮影技術応用	筆記用具、カメラ、パソコンmac	
11,12	PremiereProを使用してのプロフィール作成	筆記用具、パソコンmac	
13,14	PremiereProを使用してのプロフィール作成	筆記用具、パソコンmac	
15,16	PremiereProを使用してのプロフィール作成	筆記用具、パソコンmac	
17,18	記録とダイジェストの違いを考える①	筆記用具、カメラ、パソコンmac	
19,20	記録とダイジェストの違いを考える②	筆記用具、カメラ、パソコンmac	
21,22	PremiereProを使用しての動画編集応用	筆記用具、パソコンmac	
23,24	学校紹介ムービーの作成	筆記用具、カメラ、パソコンmac	
25,26	学校紹介ムービーの作成	筆記用具、カメラ、パソコンmac	
27,28	定期試験対策		
29,30	定期試験		

対象学科	ウェディング科		
対象学年	2 学年	科目名	アテンド・キャプテン・司会実践A/B
対象学期(Q)	前・後 期	講義	演習・実技・実習
		担当名	唐橋 誠治
		単位/時間数	4単位 60 時間

到達目標	『婚礼におけるアテンド・キャプテンの動きと司会の役割と技術について学ぶ』 施行スタッフとして、事前準備や当日運営に必要な知識と技術を学び、結婚披露宴の1日を組み立て運営出来る力を身に付けさせる。特にHWプログラムを検討する学生は実際に使用する第二校舎3F(リュミエール)にて当日の運営に役立せる。
学習内容	ブライダルキャプテンにて400組以上の新郎新婦を担当した講師が、事前準備を含む当日運営に必要なサービス方法と各役割ごと(アテンダー・CAP・司会など)の動き方を実際にHWが施行される第二校舎3F(リュミエール)を使用して指導します。基本マニュアルと基本の披露宴進行表をベースに授業を行い、全役割を把握する内容とします。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A — 4. 0 90点～100点 B — 3. 0 80点～89点 C — 2. 0 70点～79点 D — 1. 0 60点～69点 E — 出席不良 F — 0. 0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	※唐橋メモ アテンダー・司会の先生の出講授業については大松先生と要相談

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	【座学】受付・クロークについて 【動画】過去のハウスウェディング、サービス全般1日の流れ お客様の動き・スタッフ導線を確認	プリント受付編①	
3,4	【座学】ホワイエでの振る舞い、食前酒やドリンクについて 迎賓・新郎新婦入場・ウェルカムSP・乾杯①(講師主導)	プリントホワイエ編②	
5,6	【座学】料理アレルギーについて 迎賓・新郎新婦入場・ウェルカムSP・乾杯②(学生主導)	プリント料理アレルギー③	
7,8	【座学】披露宴スタートからお色直しまで 食事スタート(サービス方法の確立)・ケーキ入刀①(講師主導)	プリント披露宴スタートから④	
9,10	【座学】お色直しからお見送りまで 食事スタート(サービス方法の確立)・ケーキ入刀②(学生主導)	プリント料理・アレルギー⑤	
11,12	【座学】オリジナルウェディングを考える(模擬披露宴設定)① 中座・再入場・テーブルラウンド・手紙・謝辞① (講師主導)		
13,14	【座学】オリジナルウェディングを考える(模擬披露宴設定)② 中座・再入場・テーブルラウンド・手紙・謝辞② (学生主導)		
15,16	【座学】役割決定、アテンダー、キャプテン、司会等 リハ披露宴前半部分	アテンド・小澤先生 司会・長谷川先生	
17,18	リハ披露宴後半部分	アテンド・小澤先生 司会・長谷川先生	
19,20	模擬披露宴本番(1回目)(※披露宴時間は90分を予定する)	お客様役は評価表にてチェック	
21,22	【座学】1回目の反省とオリジナルウェディングを考える (設定変更・役割変更)		
23,24	リハ披露宴前半部分	アテンド・小澤先生 司会・長谷川先生	
25,26	リハ披露宴後半部分	アテンド・小澤先生 司会・長谷川先生	
27,28	模擬披露宴本番(2回目)(※披露宴時間は90分を予定する)	お客様役は評価表にてチェック	
29,30	定期試験(座学で学んだ内容)		

対象学科	ウェディング科		
対象学年	2 学年	接遇介助士ホスピタントA	山田みどり
対象学期	前 期	講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	4単位 60 時間

到達目標	”接遇介助(高齢者、妊婦、障害者など)を適切に行えるようになる。ウェディング・ホテル接客スキルの一環として習得する。 ※「接遇介助士ホスピタントアソシエイト3級」合格を目指す”
学習内容	一流ホテルにて婚礼・宴会などホテル業務、カナダでサービス業に勤めるなど、多種多様なシチュエーション、人々の特徴、異文化を含めたコミュニケーション力を備えた講師より、相手の状況や心理状態学びながら、お客様への適切な声掛けやコミュニケーションを行えるように実践的な学習を行う。接客時や日常生活における適切なサポート方法を学ぶ。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	接遇介助士ホスピタントの必要性と資質	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	授業内容に応じて、自宅学習
3,4	ホスピタントマナーの理解 ヒューマンティの概念	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	授業内容に応じて、自宅学習
5,6	QOLの発表 お客様心理の理解	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	授業内容に応じて、自宅学習
7,8	ポジティブワードの会話とは 5つの視点	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	授業内容に応じて、自宅学習
9,10	ロールプレイング(5つの視点) Global Security・個性への対応	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	授業内容に応じて、自宅学習
11,12	オープンクエスチョンとクローズドクエスチョン ロールプレイング(クエスチョン)	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	授業内容に応じて、自宅学習
13,14	これまでの振り返り	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	授業内容に応じて、自宅学習
15,16	お客様に合わせた 接客・介助・サービス	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	授業内容に応じて、自宅学習
17,18	実技①(5人1組)個性の理解 実技②(5人1組)個性への対応	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	授業内容に応じて、自宅学習
19,20	プレゼンテーション 実技③(2人1組)個性に対する接客・接遇	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	授業内容に応じて、自宅学習
21,22	個性に合わせた接客・接遇 実技④(5人1組)個性に対する接客・接遇	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	授業内容に応じて、自宅学習
23,24	実技⑤(5人1組)デモンストレーション 多様性を理解する	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	授業内容に応じて、自宅学習
25,26	お客様を守る接客	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	授業内容に応じて、自宅学習
27,28	前期・後期の振り返り 模擬試験	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	授業内容に応じて、自宅学習
29,30	定期試験	【テキスト】 接遇介助士ホスピタントの教科書	

対象学科	ウェディング科		
対象学年	2 学年	科目名	カウンセリングロールプレイB
対象学期	後 期		講義 ・ <u>演習</u> ・ 実技 ・ 実習
		担当名	中村 恵理
		単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	カウンセリングの必要性を知り、潜在的な要望を聞き出すための手法を実践を踏まえながら実施する
学習内容	ゲストハウス・ホテル・レストランなど様々な会場を経験したのち、フリープランナーとして現在活躍している教員が、日常の場面でのカウンセリングシーンや婚礼で求められるカウンセリングの意味をロールプレイを通して伝える。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	人(相手)に興味を持つこと。社会に出てからすぐに実践できるように言葉づかいにも気をつけること。

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	オリエンテーション カウンセリングとヒアリングの違いとは	筆記用具	違いを知り、日常のカウンセリングをしているシーンについて考える
2	日常でみかけるカウンセリングのシーンとは (グループワーク→発表)	筆記用具	
3	婚礼におけるカウンセリングの必要性	筆記用具	
4	カウンセリング手法(同調、質問の形式)	筆記用具	
5	新郎新婦側にたつてのカウンセリング体験①	筆記用具	
6	カウンセリング実践①ドレスシヨップ	筆記用具	カウンセリング結果をまとめておく
7	カウンセリング結果に基づくコラージュ作成	パソコン持参	
8	カウンセリング実践②式場見学	筆記用具	カウンセリング結果をまとめておく
9	カウンセリング結果に基づくコラージュ作成	パソコン持参	
10	カウンセリング実践③打合せ開始時	筆記用具	カウンセリング結果をまとめておく
11	カウンセリング結果に基づくコラージュ作成	パソコン持参	
12	どのように対応をしたら 新郎新婦は不快に思わず答えてくれるか	筆記用具	
13	カウンセリングを上達させるために必要な要素	筆記用具	
14	新郎新婦側にたつてのカウンセリング体験②	筆記用具	
15	定期試験		

対象学科	ウェディング科		
対象学年	2 学年	科目名	ソムリエ・バーテンダーA/B
対象学期(Q)	前・後 期	講義	演習・実技・実習
		担当名	唐橋 誠治
		単位/時間数	4単位 60 時間

到達目標	『ワイン・バーサービス・料飲の知識 カクテルを学ぶ』ワインの最低限の産地とブドウ品種を知る。バーテンダーの基本動作、シェイクとステアが出来るようになる。オーソドックスなカクテル名とレシピを知り、料飲知識(テーブルマナーや大人の教養を身に着ける)																					
学習内容	JSAソムリエ・HBAビバレッジアドバイザーの資格を有する講師が担当。座学と実技にてお酒全般の知識を身に着ける。1コマ目の座学で知識を知り、2コマ目に実際に触れる、体験する、やってみる、創作することをして学習します。																					
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する <table><tr><td>評価</td><td>GPA</td><td>合計点数</td></tr><tr><td>A</td><td>4.0</td><td>90点～100点</td></tr><tr><td>B</td><td>3.0</td><td>80点～89点</td></tr><tr><td>C</td><td>2.0</td><td>70点～79点</td></tr><tr><td>D</td><td>1.0</td><td>60点～69点</td></tr><tr><td>E</td><td></td><td>出席不良</td></tr><tr><td>F</td><td>0.0</td><td>59点以下(不合格)</td></tr></table> ※定期試験は筆記試験とする	評価	GPA	合計点数	A	4.0	90点～100点	B	3.0	80点～89点	C	2.0	70点～79点	D	1.0	60点～69点	E		出席不良	F	0.0	59点以下(不合格)
評価	GPA	合計点数																				
A	4.0	90点～100点																				
B	3.0	80点～89点																				
C	2.0	70点～79点																				
D	1.0	60点～69点																				
E		出席不良																				
F	0.0	59点以下(不合格)																				
履修に当たっての留意点	飲材の仕入状況により、実技内容が変更することもあります。																					

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	【座学】ワインの製造方法を知る。各ボトルの説明 ワインの産地(旧世界)(ニューワールド) 【実技】ワイン抜栓、ソムリエナイフの使い方、デカンタージュ	デキャンター、ソムリエナイフ	
3,4	【座学】ワインのクイズプリントブドウ品種とワイン用語 【実技】ミネラルウォーターの飲み比べ (ワインテイスティング方法を水で習得する)	クリスタルカイザー・エビアン・コントレックス	
5,6	【座学】カクテルのクイズプリント 有名カクテル名を知る 【実技】赤ワイン抜栓とホットワインづくり(ヴァンショールージュ)	赤ワイン・グラニュー糖	
7,8	【座学】ミニテスト (赤ワイン・白ワイン・スパークリング・ワイン全般の問題) 【実技】スクイザーを使用したフレッシュレモンスカッシュを作る	レモン・グラニュー糖・炭酸水	
9,10	【座学】日本酒の起源、精米歩合、酒造好適米、日本三大酒処 【実技】白ワイン抜栓とホットワインづくり(ヴァンショープラン)	白ワイン・グラニュー糖	
11,12	【座学】ウイスキーの起源、5大ウイスキー産地、バーボンとは 【実技】カクテルのシェイカーとミキシンググラスの使い方を学ぶ	シンデレラ	
13,14	【座学】お茶とお水の問題について 【実技】パイナップルカットOR缶詰を使用したハンドブレンダー	パイナップルスムージー	
15,16	【座学】ビールについて 【実技】ノンアルコールビールカクテル作り	ロイヤルカシスコーヒーとノンアルコール 黒ビールコーヒーとキャラメルラテコー ヒー	
17,18	【座学】紅茶について 【実技】シェイカーを使用した紅茶カクテル作り	フレーバーティー(紅茶パック)と ジュース	
19,20	【座学】コーヒーについて 【実技】ハードシェイク、ホットカクテル作り	抹茶ラテ・紅茶ラテ・チョコバナナ	
21,22	【座学】ミニテスト(世界のカクテル名) 【実技】スムージーカクテル作り	缶詰(ライチ・みかん・白桃)	
23,24	【座学】料飲全般の問題 【実技】カクテルコンペティションの動作を学ぶ(リハーサル)	オレンジカット、フルーツポンチ	
25,26	オリジナルカクテル① コンセプト&カクテルレシピ	キウイカット、ピンクグレープ フルーツノンアルコールモヒート	
27,28	カクテルコンペティション 味・所作・見た目の採点	自家製ジンジャーエール	
29,30	定期試験(座学で行った内容ベース)		

対象学科	ウェディング科		
対象学年	2 学年	科目名	BR国家検定対策3級 I
対象学期(Q)	前 期	講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	担当名 山岸 智恵子
		単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	ブライダルコーディネーターに必要な知識・技能・実践力を理解、習得し、ブライダル業界唯一の国家検定【3級ブライダルコーディネーター技能検定試験】に合格すること。
学習内容	日本並びに海外で数々のウェディングプランニング及び「コーディネーター」の経験を持ち、学校教育経験のある教員が、ブライダル業界唯一の国家検定資格である【ブライダルコーディネーター技能検定試験】に合格に導き、一人ひとりがブライダル業界での地位向上を目指せるための講義を実施いたします
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A － 4.0 90点～100点 B － 3.0 80点～89点 C － 2.0 70点～79点 D － 1.0 60点～69点 E － 出席不良 F － 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	ブライダルコーディネーターとして必要な知識、実践的な能力を身につけるためのベースである「テキスト」と、知識確認のための「WORK BOOK」を持参すること

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	I ブライダルコーディネーターとは/1章:定義・必要な知識と能力 2章:企画提案に必要な要素	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート、WORK BOOK	テキストエキスパートP14～18を読む
2	2章の2～ブライダルセールス、クロージングと成約、打合せ業務、オペレーション 3章:ブライダルビジネスのコミュニケーション	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート、WORK BOOK	エキスパートP18～25読む
3	3章の3～コミュニケーションにおける印象づくりと敬語 4章:ホスピタリティ	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート、WORK BOOK	エキスパートP25～32読む
4	II ブライダルビジネスにおけるヒアリング(新規・成約)における基本的姿勢、手法の概略	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート、WORK BOOK	エキスパートP34～52読む
5	IIIプランニング(新規・成約)における手法、特徴	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート、WORK BOOK	エキスパートP54～89読む
6	IVブライダル商品の特徴を理解する/プレゼンテーション(新規・成約)、成約手続き	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート、WORK BOOK	エキスパートP92～100読む
7	V手配業務(ペーパーアイテム・衣装・挙式・披露宴・演出・装花)、VI当日業務(コーディネーター役割・アテンド業務)	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート、WORK BOOK	エキスパートP122～146読む
8	I～VIまでの重要ポイントのみ振り返りアウトプットする VIIブライダル市場の規模と特性	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート、WORK BOOK	エキスパートP14～146復習
9	VIIブライダル市場の規模と特性/業種・業態、関連業種、集客チャネル、エリア特性	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート、WORK BOOK	エキスパートP148～172読む
10	VIII経営管理/コンプライアンス、トラブル対処	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート、WORK BOOK	エキスパートP216～235読む
11	X-1ブライダル基本知識/結婚の定義・日本の結婚式の歴史と文化	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート、WORK BOOK	エキスパートP238～250読む
12	X-2ブライダル基本知識/海外の結婚式の歴史と文化	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート、WORK BOOK	エキスパートP251～259読む
13	X-3ブライダル基本知識/見合い・婚約・結納	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート、WORK BOOK	エキスパートP260～277読む
14	X-4ブライダル基本知識/結婚式・披露宴・二次会・新婚旅行 /定期試験対策	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート、WORK BOOK	エキスパートP278～299読む
15	定期試験	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	テキスト復習、ワークブック見直し

対象学科	ウェディング科	
対象学年	2 学年	科目名
対象学期(Q)	後 期	BR国家検定対策3級Ⅱ
		担当名
		山岸 智恵子
		単位/時間数
		2単位 30 時間

到達目標	ブライダルコーディネーターに必要な知識・技能・実践力を理解、習得し、ブライダル業界唯一の国家検定【3級ブライダルコーディネーター技能検定試験】に合格すること。
学習内容	日本並びに海外で数々のウェディングプランニング及び「コーディネーター」の経験を持ち、学校教育経験のある教員が、ブライダル業界唯一の国家検定資格である【ブライダルコーディネーター技能検定試験】を合格に導き、一人ひとりがブライダル業界での地位向上を目指すための講義を実施いたします。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A ー 4.0 90点～100点 B ー 3.0 80点～89点 C ー 2.0 70点～79点 D ー 1.0 60点～69点 E ー 出席不良 F ー 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	ブライダルコーディネーターとして必要な知識、実践的な能力を身につけるためのベースである「テキスト」と、知識確認のための「WORK BOOK」を持参すること(※第5回以降PC必須となります。)

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	X-5ブライダル基本知識/料理・飲み物、トータルコーディネーターの考え方	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート、WORK BOOK	エキスパートP300～305読む
2	X-5ブライダル基本知識/衣装(洋装・和装・格式等々)	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート、WORK BOOK	エキスパートP308～325読む
3	X-6ブライダル基本知識/ヘアメイク・フラワーアイテム、会場コーディネーターの考え方	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート、WORK BOOK	エキスパートP326～340読む
4	X-7ブライダル基本知識/ペーパーアイテム、引出物、引菓子、音響照明、司会、写真、映像、記念アイテム	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート、WORK BOOK	エキスパートP341～353読む
5	模擬試験① /解説	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパート復習、ワークブック見直し、国トレ
6	国家検定過去問題 /解説	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパート復習、ワークブック見直し、国トレ
7	国家検定過去問題 /解説	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパート復習、ワークブック見直し、国トレ
8	国家検定過去問題 /解説	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパート復習、ワークブック見直し、国トレ
9	模擬試験② /解説	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパート復習、ワークブック見直し、国トレ
10	実技試験対策 /解説(結納品9品目実物確認)	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパート復習、ワークブック見直し、国トレ
11	国家検定過去問題 /解説	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパート復習、過去問見直し、国トレ
12	模擬試験③ /解説・国家検定直前対策(実技含む)	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパート復習、過去問見直し、国トレ
	国家検定試験		
13	国家検定試験振返り	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパート復習、見直し
14	定期試験対策 /テキスト振返り	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパート復習、過去問見直し
15	定期試験	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	

対象学科	ウェディング科				
対象学年	2 学年	科目名	リゾートホテル実習	担当名	岡覚子/島滝美奈子
対象学期	前 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	3単位 90 時間

到達目標	・リゾート地におけるホテル実習を通して、リゾートホテルの特長・業務を学び、実践し、ホテルリエとしてのスキル・マインドを身につける。 ・お客様としてのホテルサービスの魅力を理解する。
学習内容	リゾートホテルで実習をおこない、リゾートホテルならではのサービスを学ぶ。
成績評価の方法と基準	70％以上の出席率と提出物でSU評価（合格・不合格）で成績を算出する 評価 S － 合格 U － 不合格 実習報告書の提出を必須とする
履修に当たっての留意点	全てのスタッフに対して感謝の気持ちを持って接しましょう。 常に挨拶を心がけること。研修時は「うなずき」「あいづち」「アイコンタクト」を忘れずに！ 今回訪問するホテルのことをホームページなどで調べて最低限の知識を持っていけるようにしましょう！

授業回数別教育内容

授業内容（予定）	学習の準備など
集中授業で実施	
・ホテルに実際に宿泊し、実際のサービスを体験し、宿泊者視点でホテルサービスについて学び、考える。 ・ホテルに対して、宿泊者の視点を踏まえてサービスの提案を考える。 ・ハウスキーピングなどを実際の宿泊体験で考察する。	授業内容に応じて 自宅学習

対象学科	ウェディング科				
対象学年	2 学年	科目名	現場実習Ⅱ	担当名	岡覚子/吉田大毅
対象学期	前 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	6単位 180 時間

到達目標	職業人に必要な職業倫理、企業の方針や就業規則に関する規定等を守ることだけではなく企業スタッフとのコミュニケーション、人間的なふれあいを積極的に行い、信頼関係を築けるような人間性・社会性を身につける。 ウェディング・ホテル業界の業種、仕事、ビジネスモデル(運営の仕組み)を理解する。
学習内容	現場実習を通して業界を理解し、専門的なスキルと接客スキルを学ぶ。
成績評価の方法と基準	70%以上の出席率と提出物でSU評価(合格・不合格)で成績を算出する 評価 S ― 合格 U ― 不合格 実習報告書の提出を必須とする
履修に当たっての留意点	実習では、誰かに「教えてもらう」という受身の立場から、自分で「学びとる」という積極的な立場へと自己変革することが必要になる

授業回数別教育内容

授業内容(予定)	学習の準備など
実習では目標を設定して臨むことが必要です。目標としては以下のような視点が挙げられます。個々人の状態や段階に応じた目標を設定して、有意義な実習を自ら作り上げてください。 ①自分の性格の特長に関心を持ち、理解することができる ②自分の行動を客観的に分析し、行動特徴を理解することができる ③自分のやるべきことの方角・目標を設定でき、主体的・能動的に実習に臨むことができる ④自ら笑顔で挨拶ができ、丁寧な言葉遣いでお客様・スタッフと関わることができる。 ⑤お客様や周りのスタッフに不愉快な思いをさせない身だしなみと服装で臨むことができる ⑥社会人としてマナー・常識の必要性を理解し、それを身につけることができる ⑦お客様の気持ちを理解し、思いやりの気持ちをもって丁寧に対応することができる ⑧現場スタッフと積極的に関わり、指示に対してしっかり行動することができる ⑨与えられた環境や考え方に対して理解を示し、適応できるよう努力することができる ⑩所属部署における自分の役割を理解することができる ⑪業界で求められる職業人としての姿勢・態度をもつことができる ⑫就職時に求められる専門的知識・技術を修得し、それを実践することができる	実習先の事前理解

対象学科	ウェディング科				
対象学年	2 学年	科目名	現場実習Ⅲ	担当名	岡覚子/吉田大毅
対象学期	後 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	6単位 180 時間

到達目標	職業人に必要な職業倫理、企業の方針や就業規則に関する規定等を守ることだけではなく企業スタッフとのコミュニケーション、人間的なふれあいを積極的に行い、信頼関係を築けるような人間性・社会性を身につける。 ウェディング・ホテル業界の業種、仕事、ビジネスモデル(運営の仕組み)を理解する。
学習内容	現場実習を通して業界を理解し、専門的なスキルと接客スキルを学ぶ。
成績評価の方法と基準	70%以上の出席率と提出物でSU評価(合格・不合格)で成績を算出する 評価 S ― 合格 U ― 不合格 実習報告書の提出を必須とする
履修に当たっての留意点	実習では、誰かに「教えてもらう」という受身の立場から、自分で「学びとる」という積極的な立場へと自己変革することが必要になる

授業回数別教育内容

授業内容(予定)	学習の準備など
実習では目標を設定して臨むことが必要です。目標としては以下のような視点が挙げられます。個々人の状態や段階に応じた目標を設定して、有意義な実習を自ら作り上げてください。 ①自分の性格の特長に関心を持ち、理解することができる ②自分の行動を客観的に分析し、行動特徴を理解することができる ③自分のやるべきことの方角・目標を設定でき、主体的・能動的に実習に臨むことができる ④自ら笑顔で挨拶ができ、丁寧な言葉遣いでお客様・スタッフと関わることができる。 ⑤お客様や周りのスタッフに不愉快な思いをさせない身だしなみと服装で臨むことができる ⑥社会人としてマナー・常識の必要性を理解し、それを身につけることができる ⑦お客様の気持ちを理解し、思いやりの気持ちをもって丁寧に対応することができる ⑧現場スタッフと積極的に関わり、指示に対してしっかり行動することができる ⑨与えられた環境や考え方に対して理解を示し、適応できるよう努力することができる ⑩所属部署における自分の役割を理解することができる ⑪業界で求められる職業人としての姿勢・態度をもつことができる ⑫就職時に求められる専門的知識・技術を修得し、それを実践することができる	実習先の事前理解